

平成 30 年度
子ども・子育て支援に関する調査
結果報告書

平成 31 年 3 月

岩倉市

目次

調査の概要	1
(1) 調査の目的	2
(2) 調査対象者	2
(3) 調査票の配布・回収状況	2
(4) 調査方法	3
(5) 調査期間	3
(6) グラフの見方等の注意点	3
第 I 部 未就学児	5
1. 回答者の家族及び子どもの状況	6
(1) 回答者（問 4）	6
(2) 居住地区（問 1）	7
(3) 就学前の子どもの年齢と人数（問 2）	8
(4) 保護者の状況（問 3、問 5）	10
(5) 子育ての状況（問 6）	13
2. 子どもの育ちをめぐる環境	14
(1) 子どもをみてもらえる環境（問 7）	14
(2) 子育てに関する不安（問 8）	17
(3) 子育てにおける孤独感・孤立感（問 9）	18
(4) 子育てに関して大変だと感じること（問 10）	19
(5) 子育てに関して相談できる環境（問 11）	21
(6) 子育てに関して相談できる人・場所（問 11-1）	22
3. 保護者の就労状況	23
(1) 母親の就労状況（問 12）	23
(2) 未就労の母親の就労希望（問 12-1）	33
(3) 父親の就労状況（問 13）	36
(4) 未就労の父親の就労希望（問 13-1）	45
4. 平日の定期的な教育・保育事業等の利用状況・利用意向について	46
(1) 平日の定期的な教育・保育事業等の利用状況・利用意向（問 14）	46
(2) 平日に定期的な教育・保育事業を利用している理由（問 14-1）	82
(3) 幼稚園・認定こども園の教育部の利用希望の程度（問 14-2）	83
(4) 平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由（問 14-3）	84
(5) 幼児教育無償化の影響（問 15）	86
5. 子どもが病気等の際の対応について	88
(1) 病気やケガで通常の教育・保育事業が受けられなかった経験（問 16）	88
(2) 利用できなかった際の対処法と日数（問 16-1）	89
(3) 病児のための保育施設等を利用しなかった理由（問 16-2）	91
(4) 病児のための保育施設等の利用日数の意向（問 16-3）	92
(5) 病児のための保育施設等を利用しなかった理由（問 16-4）	93

6. 土日・祝日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用意向	94
(1) 土日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向（問 17）	94
(2) 幼稚園等の利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向（問 18） ...	97
7. 地域の子育て支援事業の利用状況・利用意向	99
(1) 地域子育て支援拠点事業等の利用状況（問 19）	99
(2) 地域子育て支援拠点事業等の利用意向（問 20）	101
(3) 地域子育て支援関連事業等の認知度（問 21）	103
8. 一時預かり等の利用状況・利用意向	104
(1) 不定期の教育・保育事業の利用状況（問 22）	104
(2) 不定期の教育・保育事業を利用していない理由（問 22-1）	106
(3) 不定期の教育・保育事業の利用意向（問 23）	107
(4) ショートステイの必要性（問 24）	109
9. 小学校入学後の過ごし方	111
(1) 小学校入学後、放課後の時間を過ごさせたい場所（問 25）	111
10. 育児休業など職場の両立支援制度について	113
(1) 育児休業の取得状況（問 26）	113
(2) 育児休業後の職場復帰（問 26-1）	117
(3) 育児休業後の職場復帰のタイミング（問 26-2）	118
(4) 育児休業後の職場復帰時の子どもの年齢（問 26-3）	119
(5) 3歳まで育児休業を取得できる場合の取得希望（問 26-4）	121
(6) 1歳までの育児休業の取得意向（問 26-5）	123
第Ⅱ部 小学生	126
1. 子どもと家族の状況	126
(1) 回答者の小学校.....	126
(2) 子どもの性別・学年.....	126
(3) 家族の状況.....	127
2. 平日の放課後の過ごし方について	130
(1) 平日の放課後の主な過ごし方.....	130
3. 放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況と利用意向等	133
(1) 放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況.....	133
(2) 放課後児童クラブ（学童保育）の利用意向.....	139
4. 放課後子ども教室の利用状況と今後の利用意向	156
(1) 放課後子ども教室の利用状況.....	156
(2) 放課後子ども教室の利用意向.....	159
第Ⅲ部 資料編	176
(1) 調査票（未就学児）.....	176
(2) 調査票（小学生）.....	188

調査の概要

調査の概要

(1) 調査の目的

岩倉市では、幼稚園や保育園、その他の子育て支援サービスについての現在の利用状況及び今後の利用意向を把握した上で、「第2期岩倉市子ども・子育て支援事業計画」を策定することとしています。

計画の策定にあたり基礎資料として活用することを目的として、0歳児から5歳児の子どもがいるすべての保護者及び岩倉市内の小学校に在籍する小学1年生から5年生のすべての保護者を対象として、アンケート調査を実施しました。

(2) 調査対象者

本調査は、平成30(2018)年10月1日時点で、岩倉市に居住する0歳児から5歳児の子どもがいる保護者全員と、同時点で岩倉市内の小学校に在籍する小学1年生から5年生までの児童の保護者全員(兄弟姉妹がいる場合も、それぞれの児童について回答を依頼)を対象として実施しました。調査の概要については、下の表に示すとおりです。

なお、外国人の児童の保護者には、通常調査票(日本人市民向け調査票、以下、「日本人」と表記する。)に加えて、外国人市民向けの外国語版調査票及びふりがな付きの調査票を添付して配布・送付しました。

未就学児の外国語版調査票及びふりがな付きの調査票(外国人市民向け調査票。以下、「外国人」と表記する。)については、回答における負担等に配慮し、設問内容を一部簡略化し、回答しやすくしています。このため、未就学児の調査については、当該調査票を用いて回答した場合、通常調査票と設問構成等が一部異なることから、別集計としています。

(3) 調査票の配布・回収状況

①未就学児

図表 0-1 配布・回収状況(未就学児：日本人・外国人調査)

調査票の種類	配布数	有効回収数	有効回収率
日本人調査	1,951	1,428	73.2%
外国人調査 (外国語版・ふりがな付き調査票)	114	39	34.2%
合計	2,065	1,466	71.0%

※無効5票(日本人)を除く。

②小学生

図表 0-2 配布・回収状況（小学生）

小学校	配布数	有効回収数	有効回収率	学年	配布数	有効回収数	有効回収率
岩倉北	590	572	96.9%	1年生	407	356	87.5%
岩倉南	422	361	85.5%	2年生	409	364	89.0%
岩倉東	122	81	66.4%	3年生	377	340	90.2%
五条川	328	283	86.3%	4年生	403	373	92.6%
曾野	525	489	93.1%	5年生	391	359	91.8%
不明	-	10	-	不明	-	4	-
合計	1,987	1,796	90.4%	合計	1,987	1,796	90.4%

※無効6票を除く。

(4) 調査方法

原則として、各小学校、保育園及び幼稚園等を通じて、配布・回収を行いました。なお、未就園児及び市外へ通園している児童の場合は、郵送により配布・回収を行いました。

(5) 調査期間

平成30（2018）年11月から12月にかけて実施しました。

未就学児	平成30（2018）年11月16日から12月3日まで
小学生	平成30（2018）年11月12日から11月16日まで

(6) グラフの見方等の注意点

- ・構成比（％）は、原則として小数点以下第2位を四捨五入して算出した数値であるため、合計が100.0%にならない場合があります。
- ・クロス集計では、表側の「回答なし」を省略しているため、単純集計における全体の回答者数（n）と各項目の回答者数（n）の合計は一致しません。
- ・複数回答の場合、各項目の比率の合計は100.0%を超えることがあります。
- ・表、グラフ等の見出し及び文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度で省略している場合があります。
- ・本文中の「前回調査」とは、未就学児については「岩倉市子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：平成27年度～平成31年度）を策定するために、平成25年10月に実施した「子育て支援に関する調査」の調査結果、小学生については、「岩倉市放課後子ども総合プラン基本方針」（計画期間：平成27年度～平成31年度）を検討するために、平成27年7月に実施した「小学生のお子さんの放課後の過ごし方に関するアンケート」の調査結果を指します。
- ・なお、集計結果は特記しない限り「回答なし」を含みますが、時間及び日数の希望等については、「回答なし」を除いて算出しています。

第 I 部 未就学児

第 I 部 未就学児

1. 回答者の家族及び子どもの状況

(1) 回答者（問 4）

問 4

この調査票にご回答いただく方ほどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください（あてはまるもの1つに○）。

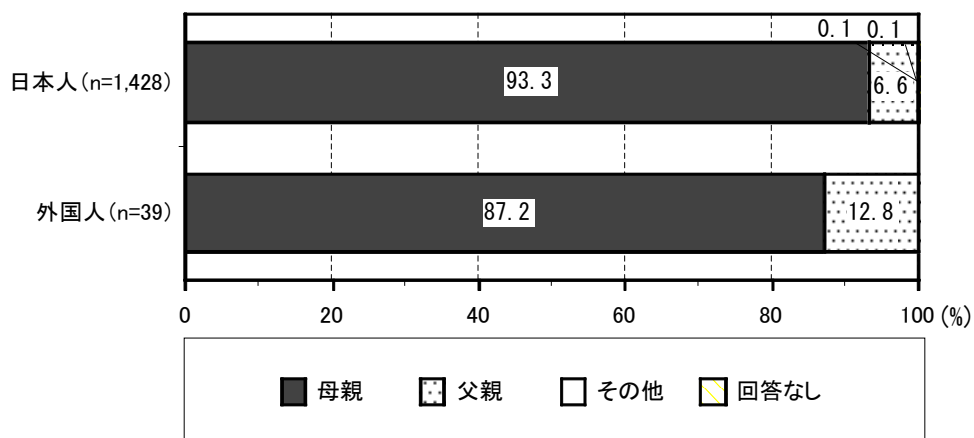
【日本人】

○日本人の調査票の回答者は、「母親」が 93.3%（1,332 人）、「父親」が 6.6%（94 人）、「その他」が 0.1%（1 人）、「回答なし」が 0.1%（1 人）となっています。

【外国人（ふりがな付き調査票を含む）】

○外国人の調査票の回答者は、「母親」87.2%（34 人）、「父親」が 12.8%（5 人）となっています。

図表 1-1 回答者



(2) 居住地区 (問 1)

問 1 お住まいの地区を教えてください (あてはまるもの 1 つに○)。

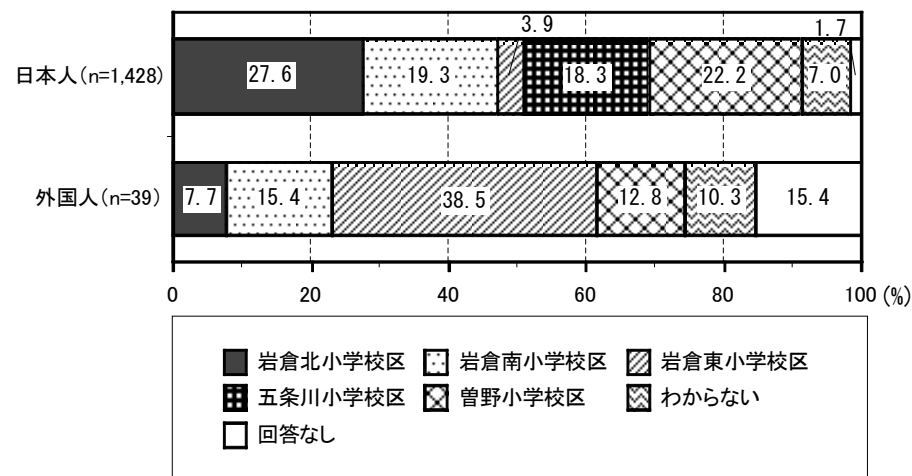
【日本人】

○回答者の居住地区は、「岩倉北小学校区」が 27.6% (394 人)、「曾野小学校区」が 22.2% (317 人)、「岩倉南小学校区」が 19.3% (276 人)、「五条川小学校区」が 18.3% (262 人)、「岩倉東小学校区」が 3.9% (55 人) の順となっています。

【外国人】

○回答者の居住地区は、「岩倉市東小学校区」が 38.5% (15 人) と最も多く、次いで「岩倉南小学校区」と「回答なし」が 15.4% (6 人) の順となっています。

図表 1-2 居住地区



(3) 就学前の子どもの年齢と人数（問2）

問2

すべての就学前（小学生未満）のお子さん（宛名のお子さんを含む）の生年月月をご記入ください（数字でご記入ください）。3人以上いる場合は空いているスペースにご記入ください。

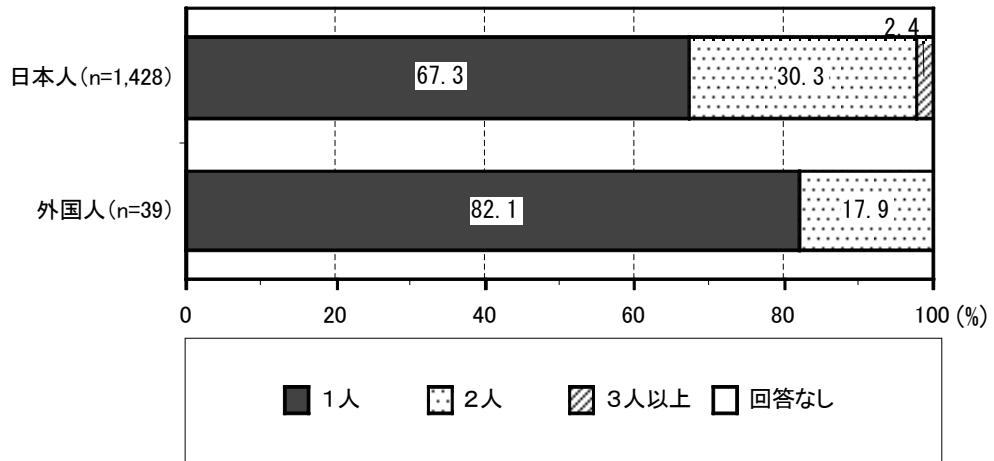
【日本人】

- 未就学の子どもの人数は、「1人」が67.3%（961人）、「2人」が30.3%（433人）、「3人以上」が2.4%（34人）となっています。
- 調査時点（2018年10月現在）の子どもの年齢について、年齢不明を除いた人数をみると、「0歳」が22.7%（437人）、「1歳児」が16.4%（315人）、「2歳児」が14.5%（279人）、「3歳児」が17.2%（332人）、「4歳児」が15.6%（301人）、「5歳児」が13.6%（261人）となっています。
- なお、2019年度4月時点で、未就学児童である5歳児以下の子どもの年齢をみると、「0歳児」は10.8%（180人）、「1歳児」が15.4%（257人）、「2歳児」が18.9%（315人）、「3歳児」が16.8%（279人）、「4歳児」が20.0%（332人）、「5歳児」が18.1%（301人）となっています。

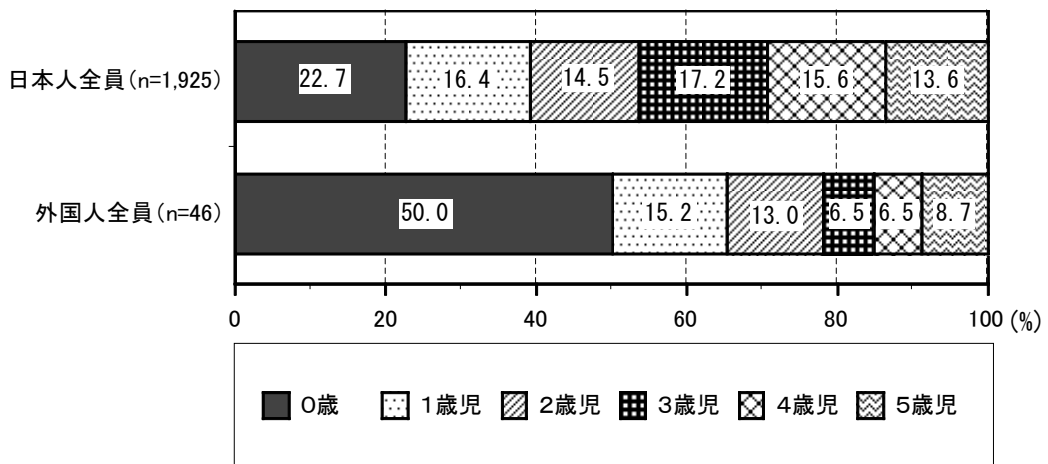
【外国人】

- 未就学の子どもの人数は、「1人」が82.1%（32人）と最も多く、次いで「2人」が17.9%（7人）となっています。
- 調査時点（2018年10月現在）での子どもの年齢をみると、「0歳児」が50.0%（23人）、「1歳児」が15.2%（7人）、「2歳児」が13.0%（6人）、「3歳児」が6.5%（3人）、「4歳児」が6.5%（3人）、「5歳児」が8.7%（4人）となっています。
- なお、2019年度において、未就学児童である5歳児以下の子どもの年齢をみると、「0歳児」は31.0%（13人）、「1歳児」が23.8%（10人）、「2歳児」が16.7%（7人）、「3歳児」が14.3%（6人）、「4歳児」が7.1%（3人）、「5歳児」が7.1%（3人）となっています。

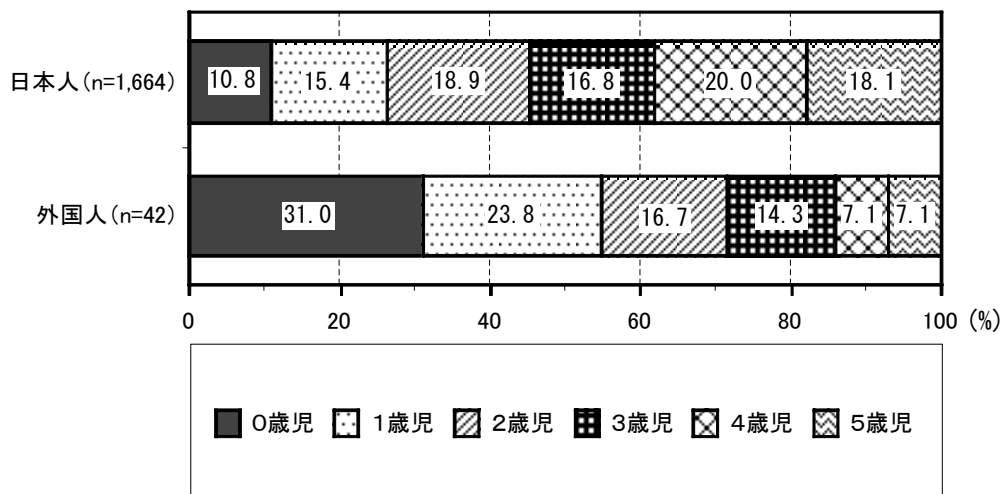
図表 1-3 就学前の子どもの人数



図表 1-4 就学前の子どもの年齢（調査時点：2018年度の年齢）



図表 1-5 就学前の子どもの年齢（2019年度の年齢）



(4) 保護者の状況（問3、問5）

問3	宛名のお子さんと同居されている方すべてに○をつけてください。また、同居されている方は働いていますか（家事は除きます）。同居されている方それぞれについてお答えください。
問5	宛名のお子さんの母親または父親に配偶者はいますか（あてはまるもの1つに○）。

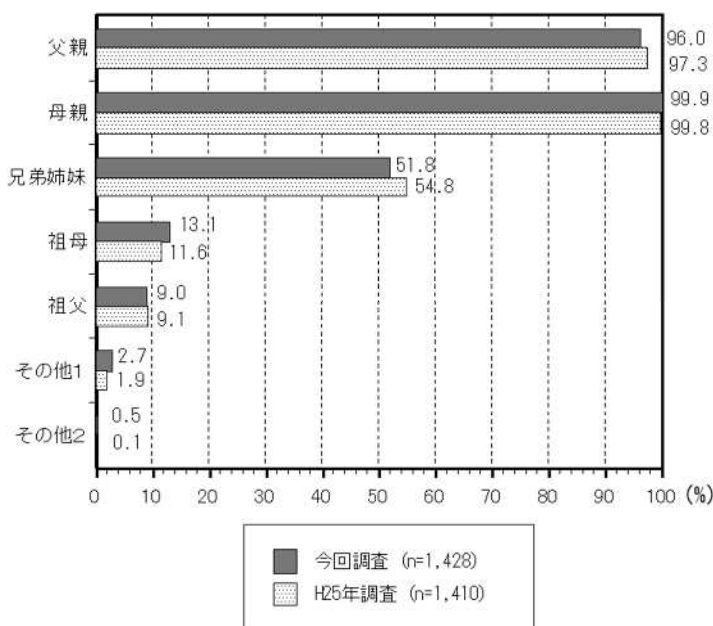
【日本人】

- 同居している家族は、「母親」が99.9%（1,426人）、「父親」が96.0%（1,371人）、「兄弟姉妹」が51.8%（739人）と続いています。また、「祖母」は13.1%（187人）、「祖父」は9.0%（128人）となっています。
- 保護者の状況についてみると、「両親ともに同居の世帯」は95.9%（1,370人）、「母親のみ同居の世帯」が3.9%（56人）、「父親のみ同居の世帯」と「両親不在の世帯」がともに0.1%（1人）となっています。
- 同居している家族の就労状況について、「働いている」との回答は、父親が99.1%（1,359人）、母親が60.2%（859人）、祖母が51.3%（96人）、祖父が64.1%（82人）となっています。
- 母親が「働いている」との回答は平成25年調査（前回調査）と比較して7.2ポイント上昇しており、就労している母親が増加していることがわかります。

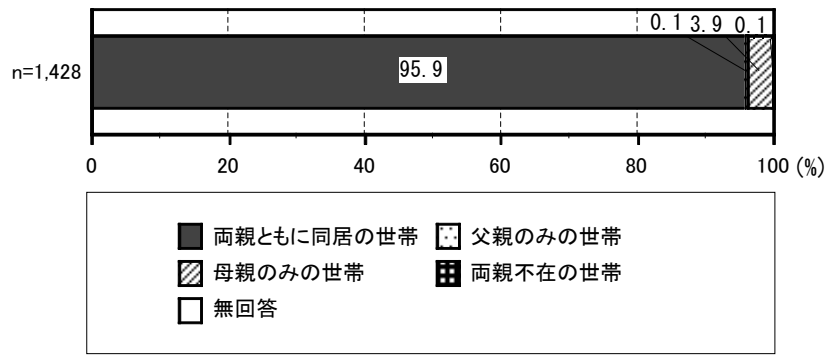
【外国人】

- 「両親ともに同居の世帯」が76.9%（30人）、配偶者がいない家庭（母親のみの世帯）が23.1%（9人）となっています。

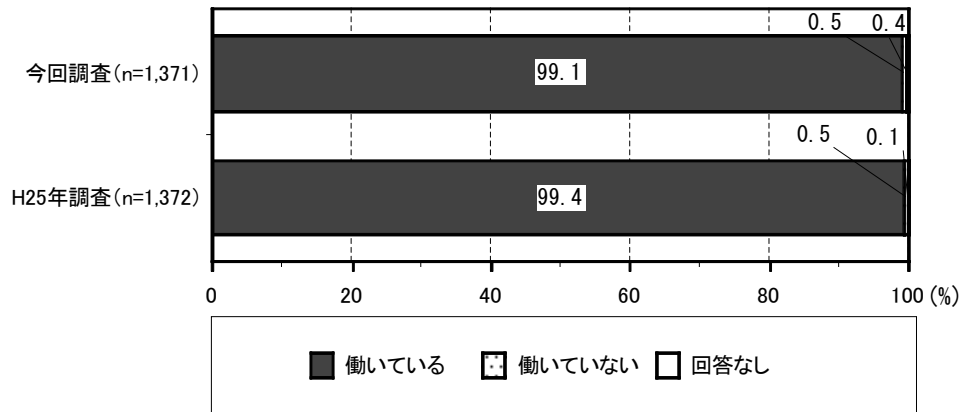
図表 1-6 同居している家族（経年比較）



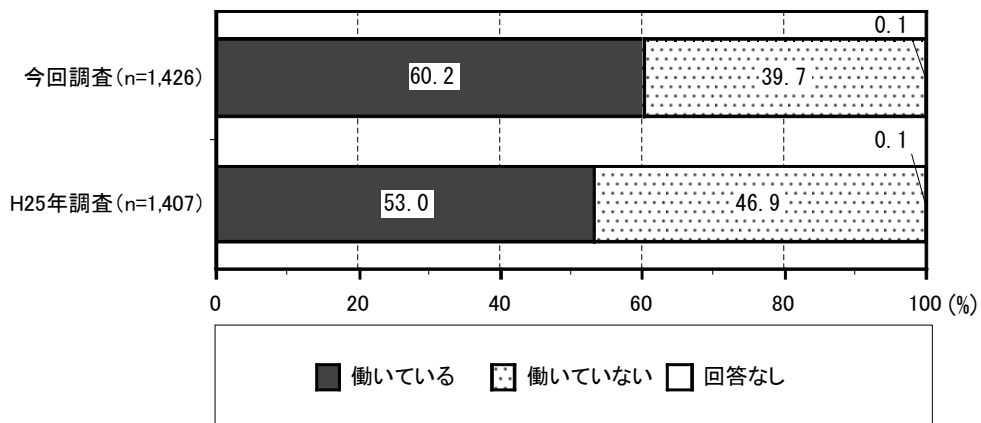
図表 1-7 世帯の形態



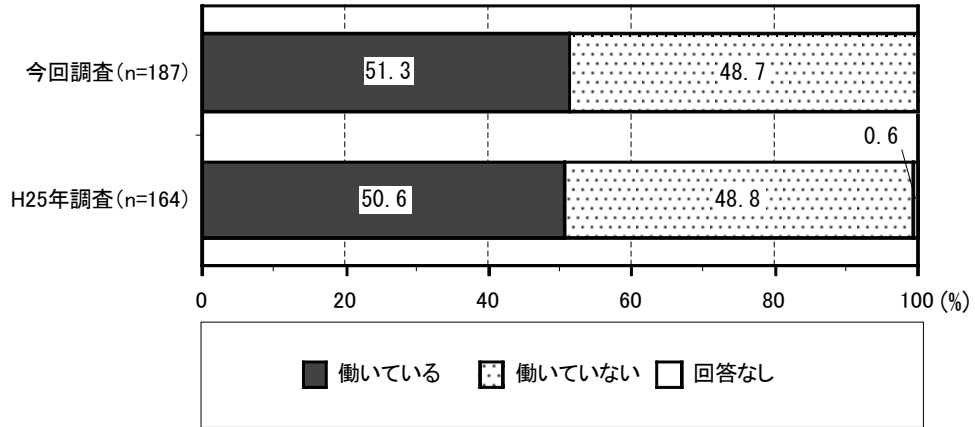
図表 1-8 保護者の就労状況（父親：経年比較）



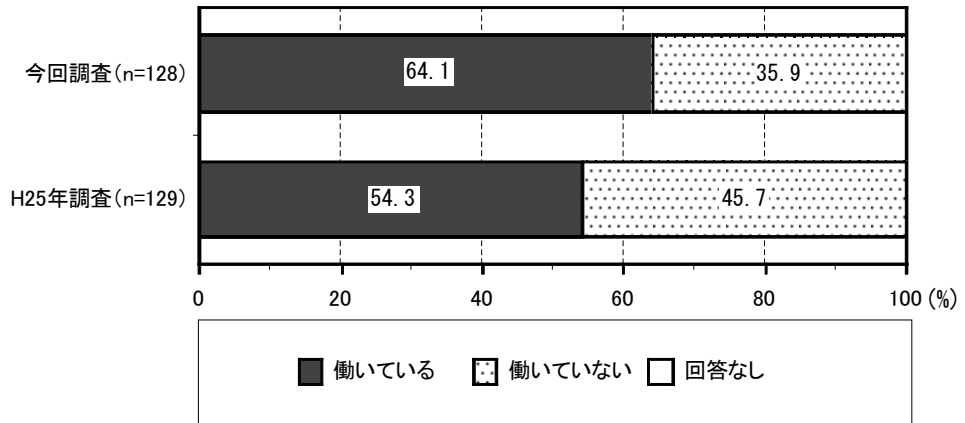
図表 1-9 保護者の就労状況（母親：経年比較）



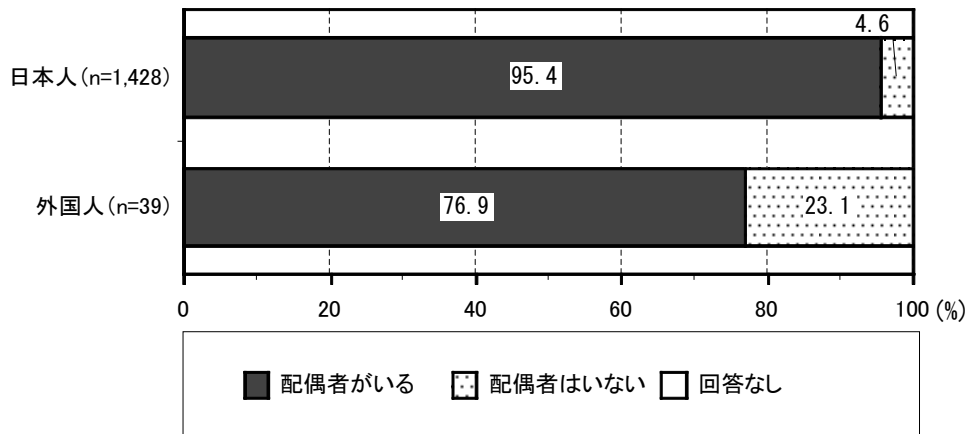
図表 1-10 保護者の就労状況（祖母：経年比較）



図表 1-11 保護者の就労状況（祖父：経年比較）



図表 1-12 保護者の状況



(5) 子育ての状況（問6）

問6

宛名のお子さんの子育て（日常的な身の回りの世話や教育など）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください（あてはまるもの1つに○）。

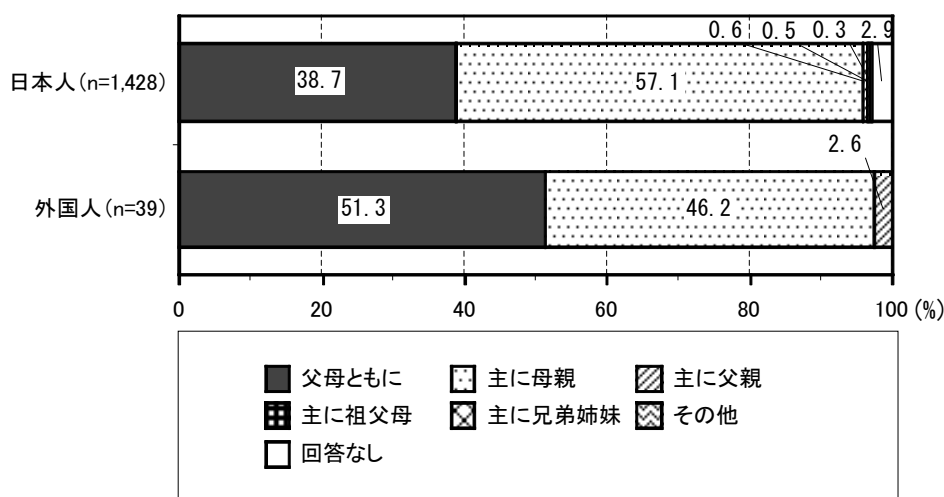
【日本人】

○子育てを主に行っているのは、「主に母親」が57.1%（815人）と最も多く、次いで「父母ともに」が38.7%（552人）、「主に父親」が0.6%（9人）、「主に祖父母」が0.5%（7人）の順となっており、半数以上が「主に母親」と回答しています。
○平成25年調査（前回調査）と比較して「父母ともに」が4.1ポイント上昇し、「主に母親」が6.2ポイント減少しています。

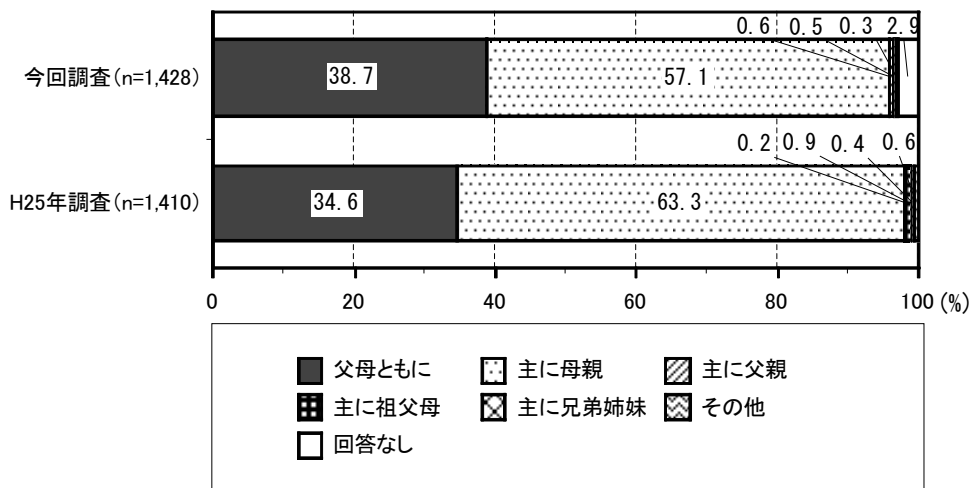
【外国人】

○子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が51.3%（20人）で最も多く、次いで「主に母親」が46.2%（18人）の順となっています。

図表 1-13 子育ての状況



図表 1-14 子育ての状況（経年比較）



2. 子どもの育ちをめぐる環境

(1) 子どもをみてもらえる環境（問7）

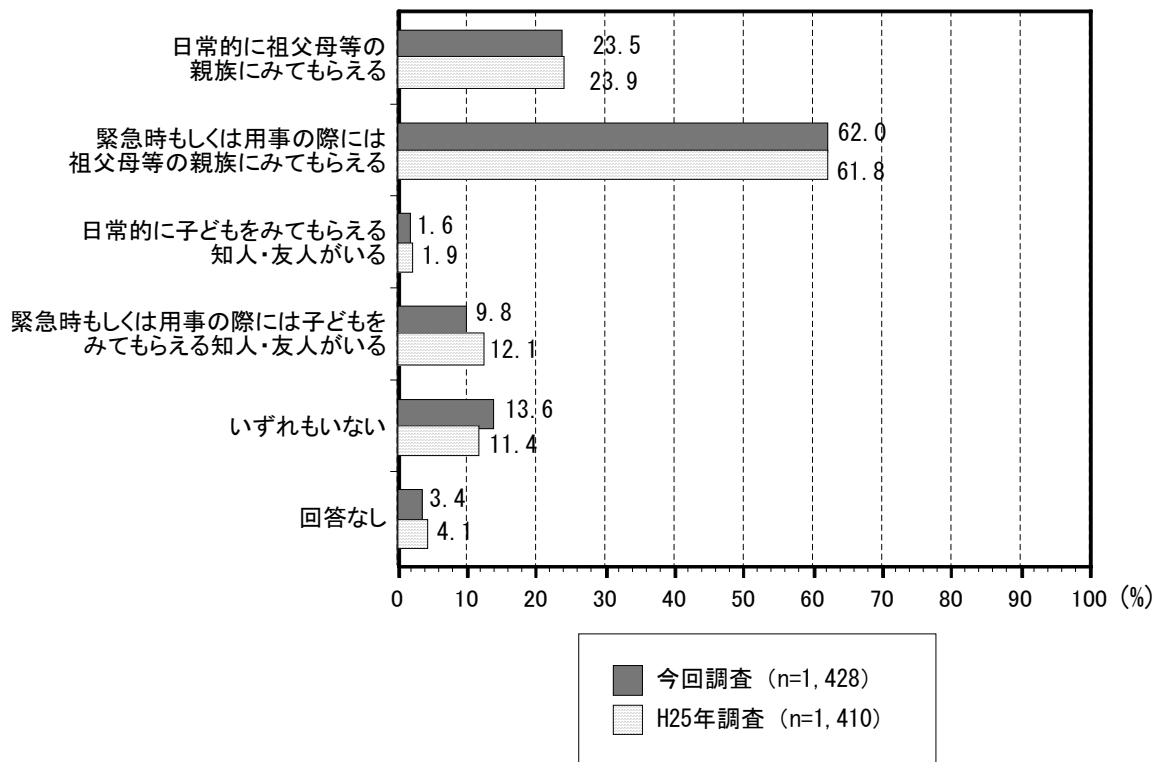
問7

日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。お子さんからみた関係でお答えください（あてはまるものすべてに○）。

【日本人】

- 日常的にも、緊急時もしくは用事の際にも、子どもをみてもらえる人がいないとの回答は 13.6%（194 人）となっています。
- 「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は 23.5%（336 人）、「日常的に子どもをみてもらえる知人・友人がいる」は 1.6%（23 人）となっています。
- 「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」は 62.0%（885 人）、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる知人・友人がいる」が 9.8%（140 人）となっています。
- 平成 25 年の調査（以下、「平成 25 年調査（前回調査）」という。）と比較して、大きな傾向の変化はみられません。

図表 2-1 子どもをみてもらえる環境（経年比較）



①親族に子どもをみてもらっている状況について（問7-1）

問7-1

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください（あてはまるものすべてに○）。

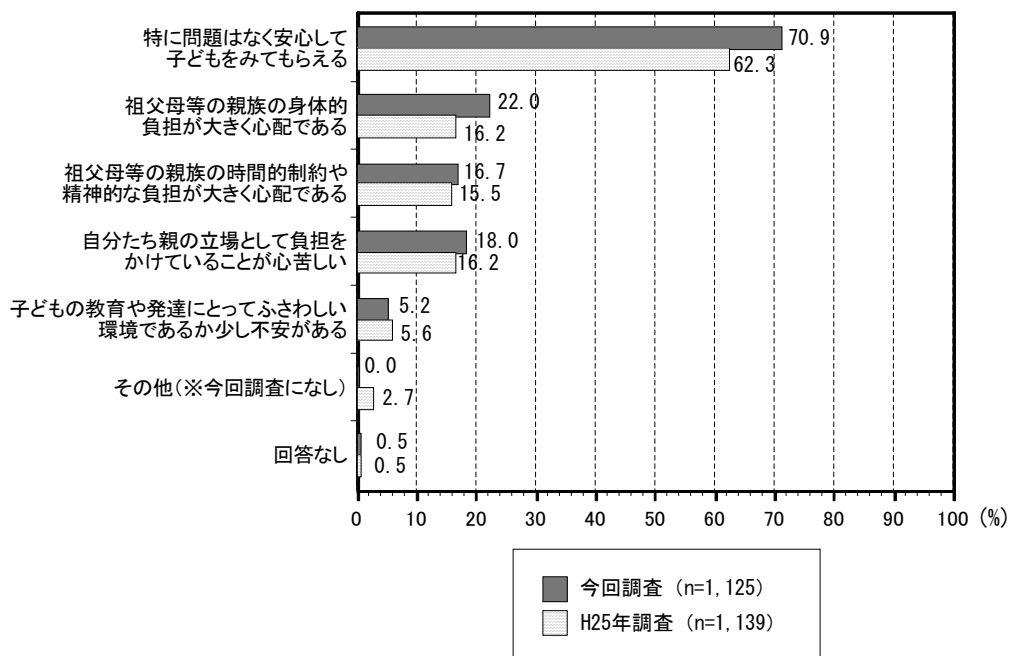
【日本人】

○祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況については、「特に問題はなく、安心して子どもをみてもらえる」が70.9%（798人）となっています。これと「回答なし」の0.5%（6人）を除いた28.6%（321人）の回答者は、この状況に対して何らかの心配や不安を抱えていることがわかります。

○心配や不安の内容は、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が22.0%（247人）、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が18.0%（203人）、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的負担が大きく心配である」が16.7%（188人）、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が5.2%（59人）の順となっています。

○平成25年調査（前回調査）と比較すると、祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況について、「特に問題はなく、安心して子どもをみてもらえる」と回答した割合は8.6ポイント上昇しています。

図表 2-2 親族に子どもを見てもらっている状況について（経年比較）



②知人・友人に子どもをみてもらっている状況について（問7-2）

問7-2

知人・友人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください（あてはまるものすべてに○）。

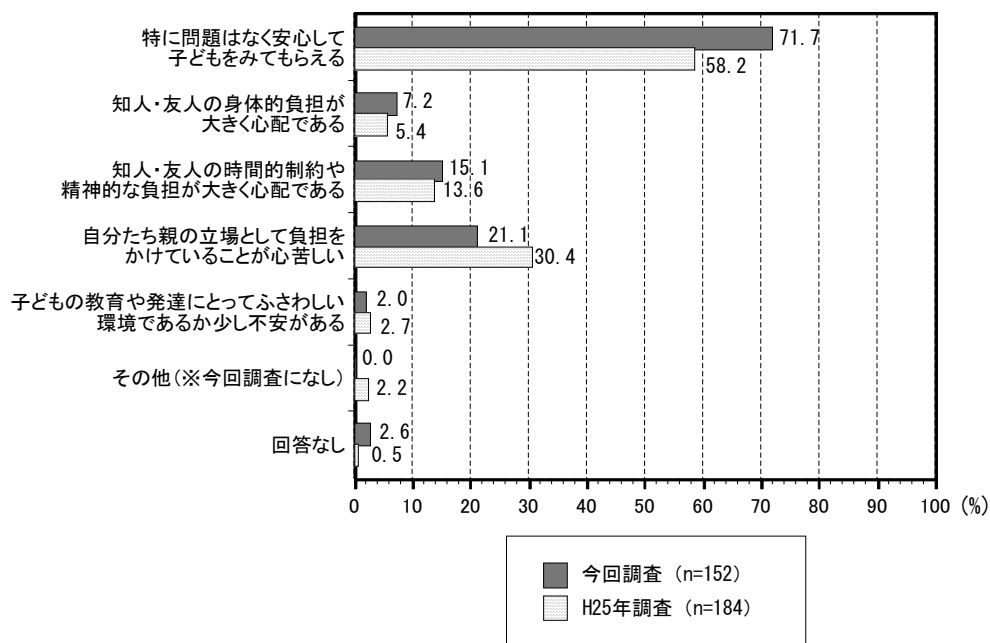
【日本人】

○知人・友人に子どもをみてもらっている状況については、「特に問題はなく、安心して子どもをみてもらえる」が71.7%（109人）となっています。これと、「回答なし」の2.6%（4人）を除いた25.7%（39人）の回答者は、この状況に対して何らかの心配や不安を抱えています。

○心配や不安の内容は、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が21.1%（32人）と最も多くなっています。次いで、「知人・友人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が15.1%（23人）、「知人・友人の身体的負担が大きく心配である」が7.2%（11人）、「子どもの教育や発達にふさわしい環境であるか、少し不安がある」が2.0%（3人）の順となっています。

○平成25年調査（前回調査）と比較すると、知人・友人に子どもをみてもらっている状況について、「特に問題はなく、安心して子どもをみてもらえる」と回答した割合は13.5ポイント上昇しています。

図表 2-3 知人・友人に子どもを見てもらっている状況について（経年比較）



(2) 子育てに関する不安（問8）

問8

子育てに関して、不安を感じることはありますか（あてはまるもの1つに○）。

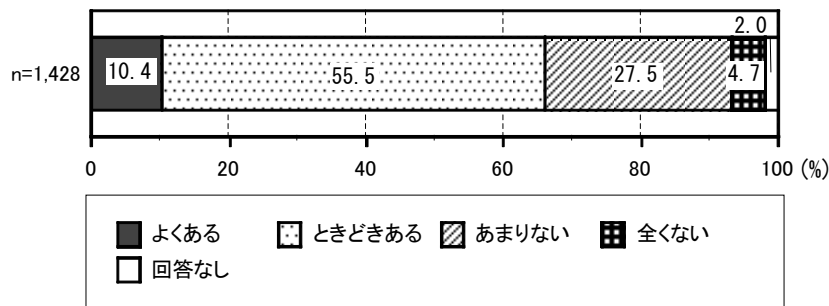
【日本人】

○子育てに関して、不安を感じるものが「よくある」との回答は10.4%（148人）、「ときどきある」は55.5%（792人）で、合わせて65.9%（940人）の回答者が、“子育てについて不安を感じることもある”と回答しています。

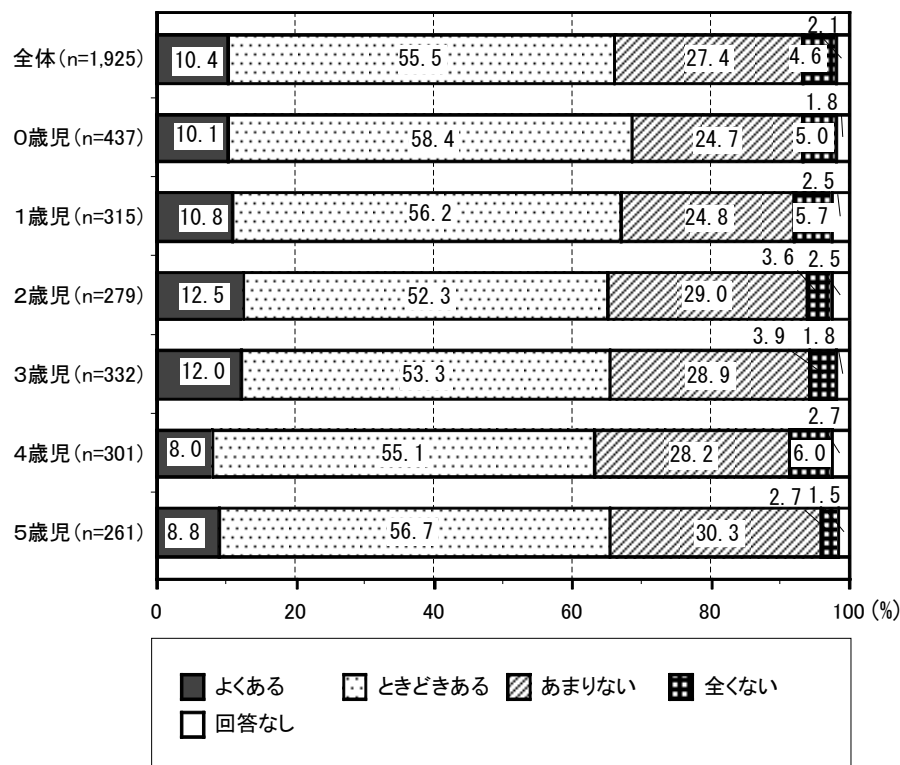
○「あまりない」は27.5%（392人）、「全くない」は4.7%（67人）で、合わせて32.2%（459人）は“子育てについて不安を感じることはない”と回答しています。

○子どもの年齢別に分けてみると、「よくある」との回答の割合は、2歳児が12.5%（35人）で最も高く、“子育てについて不安がある”との回答は、0歳児が68.5%（299人）で最も高くなっています。

図表 2-4 子育てに関する不安



図表 2-5 子育てに関する不安（子どもの年齢別）



(3) 子育てにおける孤独感・孤立感（問9）

問9

子育てをしていて、孤独感や孤立感を感じることはありますか（あてはまるもの1つに○）。

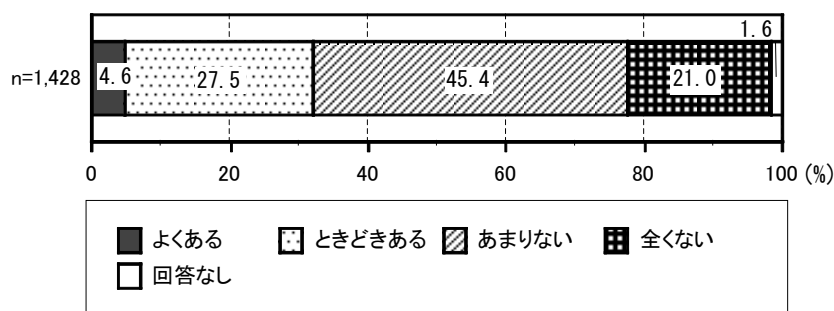
【日本人】

○子育てをしていて、孤独感や孤立感を感じる事が「よくある」との回答は4.6%、（65人）「ときどきある」は27.5%（392人）で、合わせて32.1%（457人）の回答者が、“子育てをしていて、孤独感や孤立感を感じることもある”と回答しています。

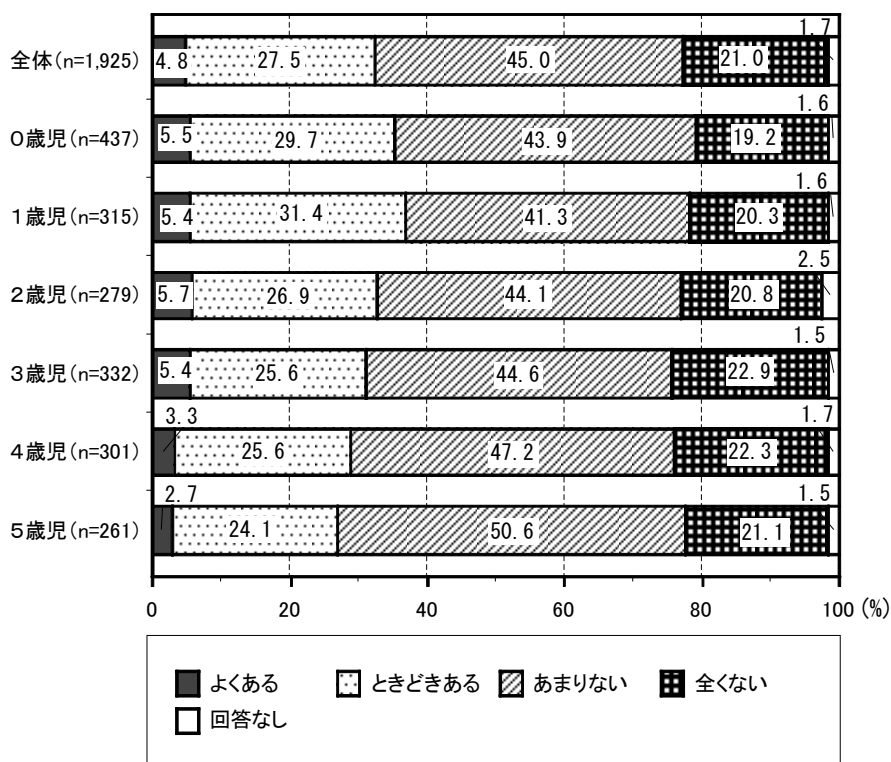
○「あまりない」は45.4%（648人）、「全くない」は21.0%（300人）で、合わせて66.4%（948人）は“子育てをしていて、孤独感や孤立感を感じることはない”と回答しています。

○子どもの年齢別に分けてみると、「よくある」との回答の割合は、2歳児が5.7%で最も高く、“子育てをしていて、孤独感や孤立感を感じる”との回答は、1歳児が36.8%で最も高くなっています。

図表 2-6 子育てにおける孤独感・孤立感



図表 2-7 子育てにおける孤独感・孤立感（子どもの年齢別）



(4) 子育てに関して大変だと感じること（問 10）

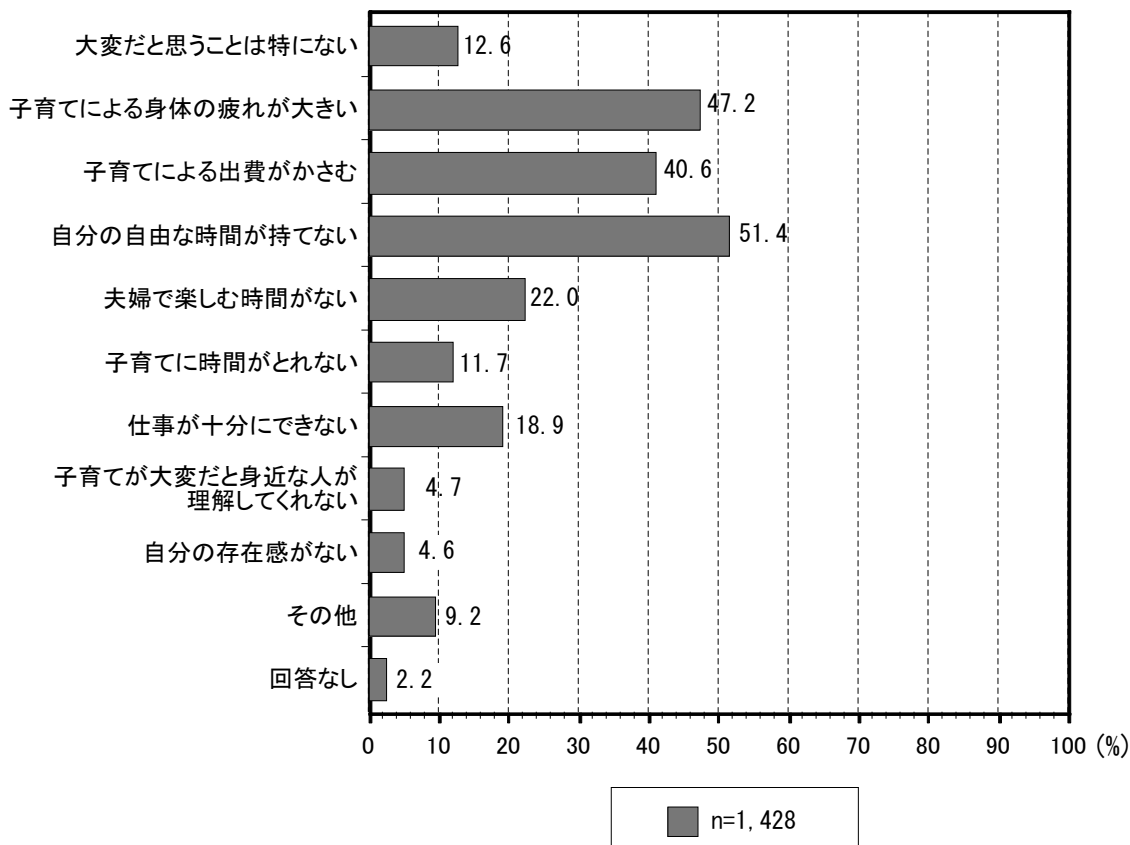
問 10

子育てに関して、大変だと感じることはありますか。また、大変だと感じることはどんなことですか（あてはまるものすべてに○）。

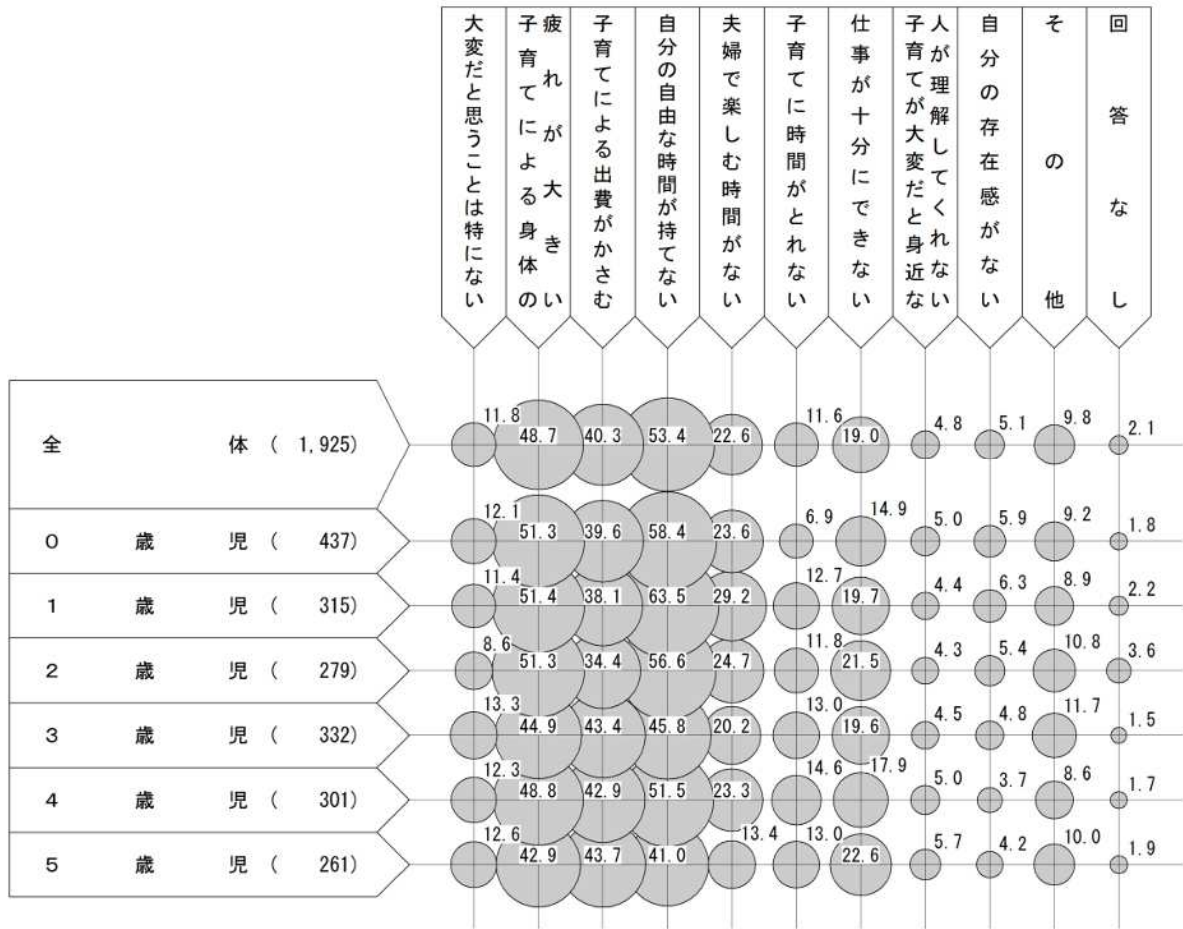
【日本人】

- 「大変だと思うことは特にない」との回答は 12.6%（180 人）であり、これと「回答なし」の 2.2%（31 人）を除いた 85.2%（1,217 人）の回答者が、“子育てに関して、大変だと感じることもある”と回答しています。
- 大変だと感じることについては、「自分の自由な時間が持てない」が 51.4%（734 人）で唯一半数を超えており、次いで「子育てによる身体の疲れが大きい」が 47.2%（674 人）、「子育てによる出費がかさむ」が 40.6%（580 人）と、それぞれ 4 割を超えています。以下、「夫婦で楽しむ時間がない」の 22.0%（314 人）、「仕事が十分にできない」の 18.9%（270 人）の順となっています。
- 回答者の子どもの年齢ごとでみると、0～4 歳児では「自分の自由な時間が持てない」、5 歳児では「子育てによる出費がかさむ」の割合が最も高く、小学校入学を控えた 5 歳児を持つ保護者は、経済的な面での負担感も大きいことがわかります。
- 「自分の自由な時間が持てない」、「夫婦で楽しむ時間がない」との回答の割合は、0 歳児から 2 歳児の低年齢児で高い傾向があり、逆に 5 歳児では、全体平均よりも 10 ポイント程度低くなっています。

図表 2-8 子育てに関して大変だと感じること



図表 2-9 子育てに関して大変だと感じること（子どもの年齢別）



(5) 子育てに関して相談できる環境（問 11）

問 11

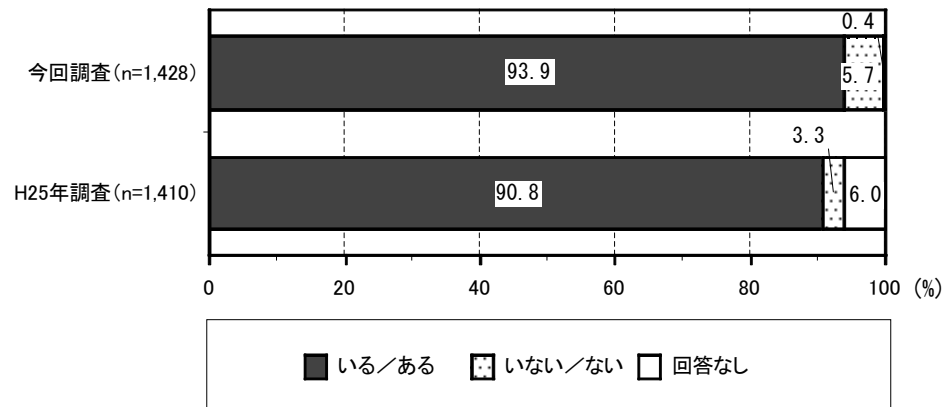
子育てをする上で気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか（あてはまるもの1つに○）。

【日本人】

○子育てをする上で気軽に相談できる人や場所が「いる／ある」と回答した割合は93.9%（1,341人）と、平成25年調査（前回調査）と比較して3.1ポイント増加しています。

○相談できる人や場所が「いない／ない」と回答した割合は5.7%（82人）と、平成25年調査（前回調査）から大きな変化はみられません。

図表 2-10 子育てに関して相談できる環境（経年比較）



(6) 子育てに関して相談できる人・場所（問 11-1）

問 11-1

子育てに関して気軽に相談できる先は誰（またはどこ）ですか（あてはまるものすべてに○）。

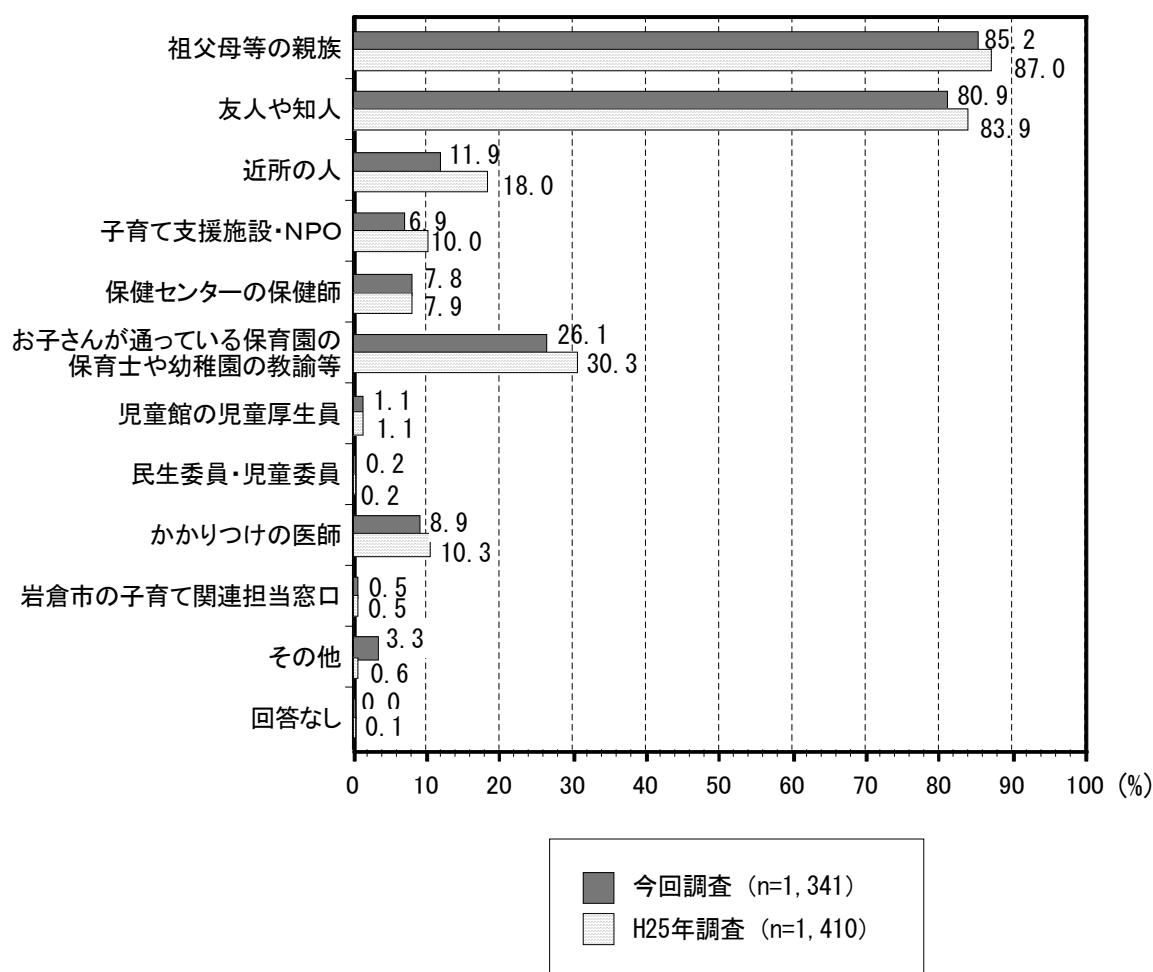
【日本人】

○子育てに関して気軽に相談できる人・場所は、「祖父母等の親族」が 85.2% (1,143 人) で最も高く、次いで「友人や知人」が 80.9% (1,085 人) と、この 2 項目が突出して高くなっています。

○以下、「保育園の保育士や幼稚園の教諭等」が 26.1% (350 人)、「近所の人」は 11.9% (160 人)、「かかりつけの医師」が 8.9% (120 人)、「保健センターの保健師」は 7.8% (105 人)、「子育て支援施設・NPO」が 6.9% (93 人) の順となっています。

○平成 25 年調査（前回調査）と比較して大きな傾向の変化はみられませんが、「近所の人」が 18.0%から 11.9%まで 6.1 ポイント低下している点が目立っています。

図表 2-11 子育てに関して相談できる人・場所（経年比較）



3. 保護者の就労状況

(1) 母親の就労状況（問 12）

問 12	宛名のお子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を教えてください（あてはまるもの1つに○、該当箇所に数字を記入）。	
	▼ 1週あたりの平均就労日数	： [] 日／週
	▼ 1日あたりの平均就労時間	： [] 時間／日
	▼ 働いている日の平均的な家を出る時間	： [] 時頃
	▼ 働いている日の平均的な帰宅時間	： [] 時頃

① 就労の概況

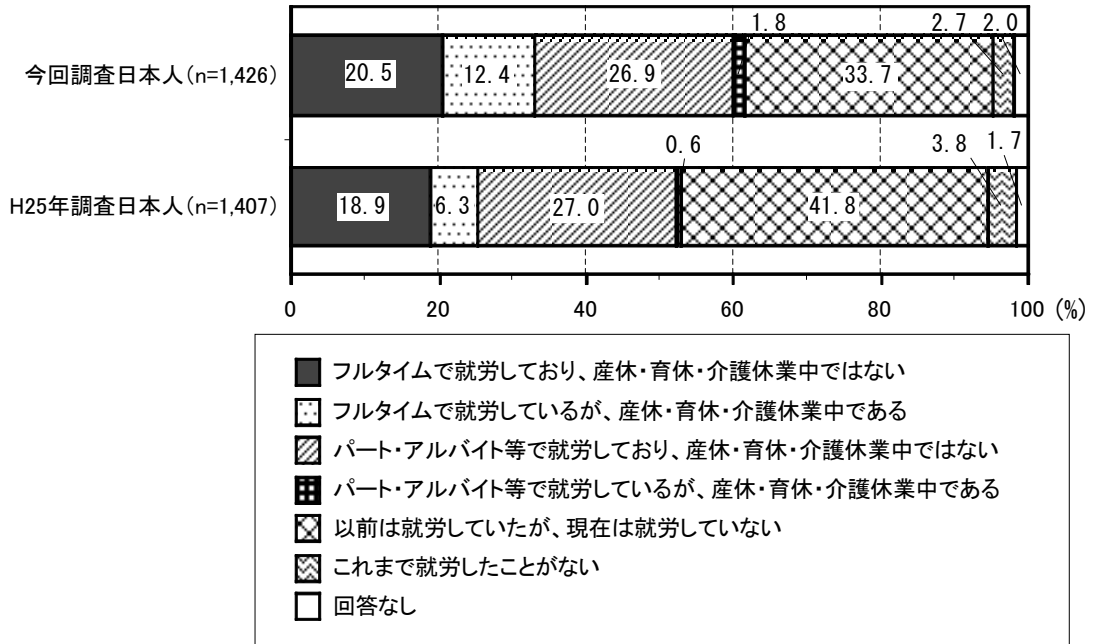
【日本人】

- 母親の就労状況について、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 20.5% (292 人)、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 12.4% (177 人) となっており、合わせて 32.9% (469 人) が“フルタイムで就労している”と回答しています。
- 「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 26.9% (384 人)、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 1.8% (26 人) となっており、合わせて 28.7% (410 人) が、“パート・アルバイト等で就労している”と回答しています。
- 「以前は就労していたが、現在は就労していない」は 33.7% (480 人) で、「これまで就労したことがない」の 2.7% (38 人) を合わせて、36.4% (518 人) が、“就労していない”と回答しています。
- 休業の状況についてみると、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は 12.4% (177 人)、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は 1.8% (26 人) で、14.2% (203 人) の回答者が現在、産休・育休・介護休業を取得しています。
- 平成 25 年調査（前回調査）と比較して、“フルタイムで就労している”母親の割合は 7.7 ポイント上昇した一方で、“就労していない”母親の割合は 9.2 ポイント低下しています。

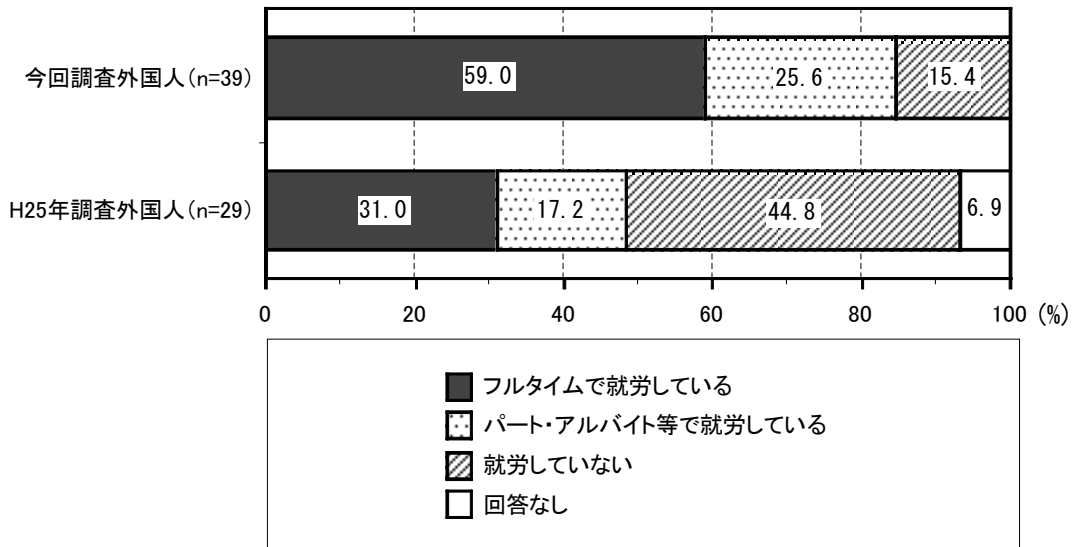
【外国人】

- 母親の就労状況は、「フルタイムで就労している」が 59.0% (23 人)、「パート・アルバイトで就労している」が 25.6% (10 人)、「現在は就労していない」は 15.4% (6 人) となっています。

図表 3-1 母親の就労状況（日本人：経年比較）



図表 3-2 母親の就労状況（外国人：経年比較）



②フルタイムの母親の就労状況

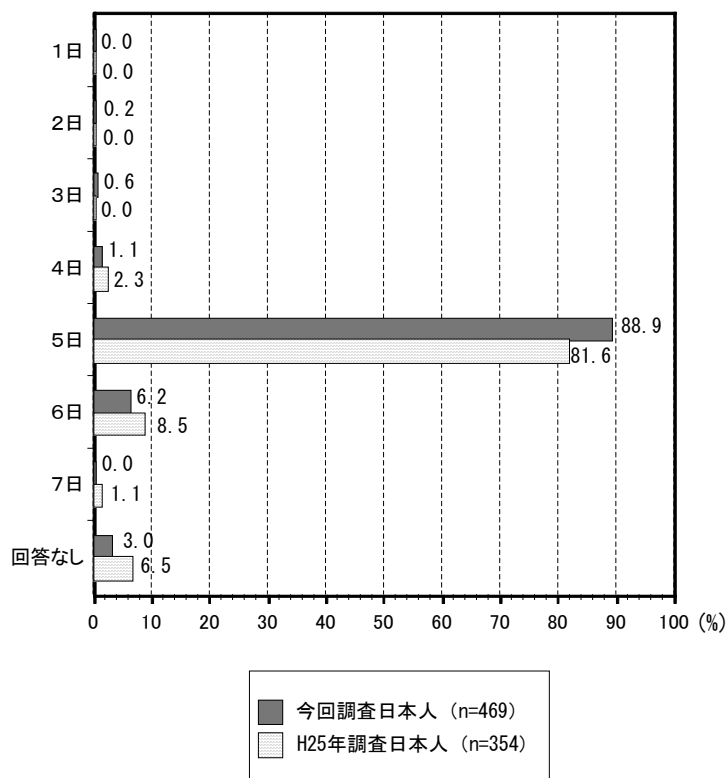
【日本人】

- 1週あたりの平均就労日数は、「5日」が 88.9% (417 人) と最も多く、次いで「6日」が 6.2% (29 人) となっています。
 - 1日あたりの平均就労時間は、「8時間」が 49.0% (230 人) と最も多く、次いで「7時間」が 19.6% (92 人)、「6時間」が 14.1% (66 人)、「9時間」が 5.1% (24 人) の順となっています。
 - 働いている日の平均的な家を出る時間は、「8時」が 46.1% (216 人) と最も多く、次いで「7時」が 38.8% (182 人)、「9時」が 4.9% (23 人) の順となっています。
 - 働いている日の平均的な帰宅時間は、「18時」が 36.9% (173 人) と最も多く、次いで「19時」が 26.4% (124 人)、「17時」が 18.1% (85 人) の順となっています。
-

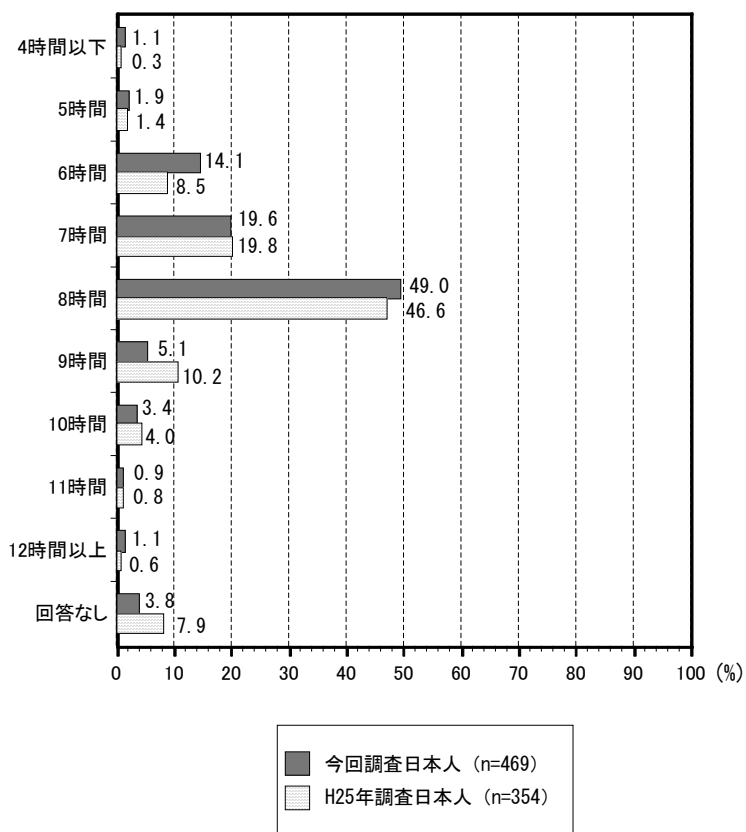
【外国人】

- 1週あたりの平均就労日数は、「5日」が 78.3% (18 人) と最も多く、次いで「6日」が 13.0% (3 人) となっています。
 - 1日あたりの平均就労時間は、「8時間」が 60.9% (14 人) と最も多く、次いで「7時間」が 17.4% (4 人) の順となっています。
 - 働いている日の平均的な家を出る時間は、「7時」が 60.9% (14 人) と最も多く、次いで「8時」が 34.8% (8 人) の順となっています。
 - 働いている日の平均的な帰宅時間は、「18時」が 60.9% (14 人) と最も多く、次いで「16時」が 26.1% (6 人) の順となっています。
-

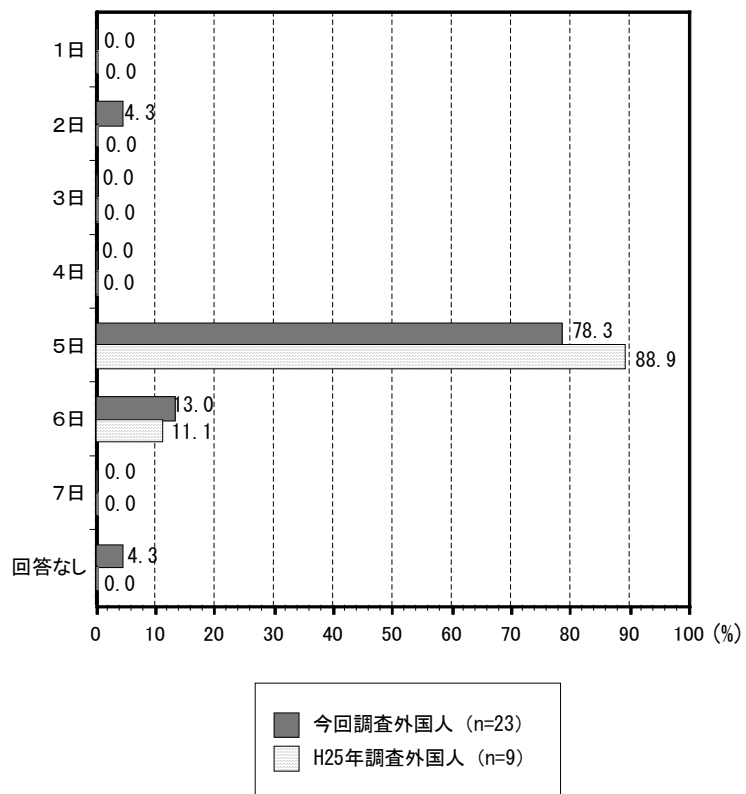
図表 3-3 フルタイムの母親の1週あたりの平均就労日数（日本人：経年比較）



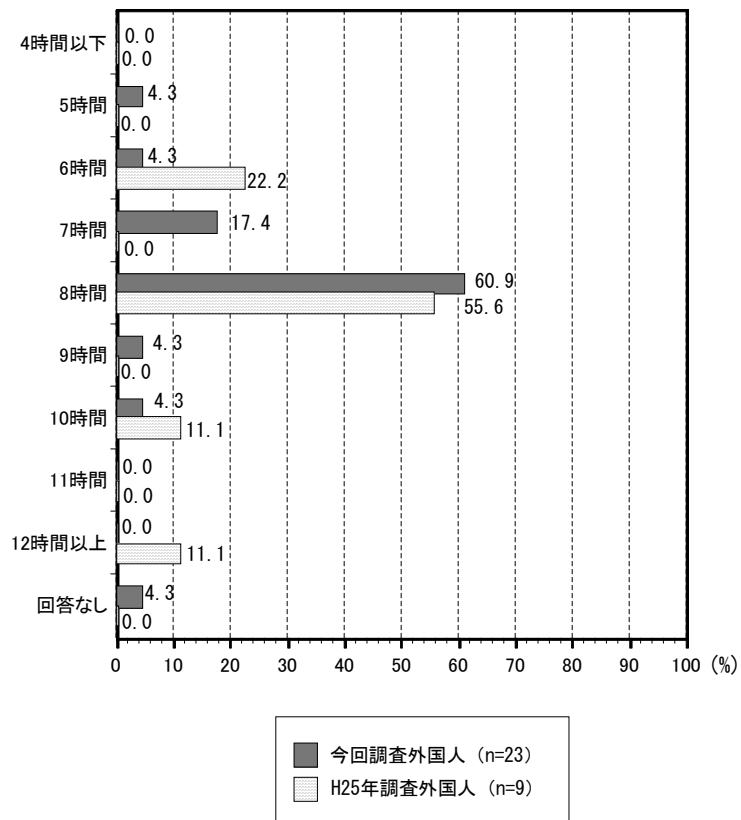
図表 3-4 フルタイムの母親の1日あたりの平均就労時間（日本人：経年比較）



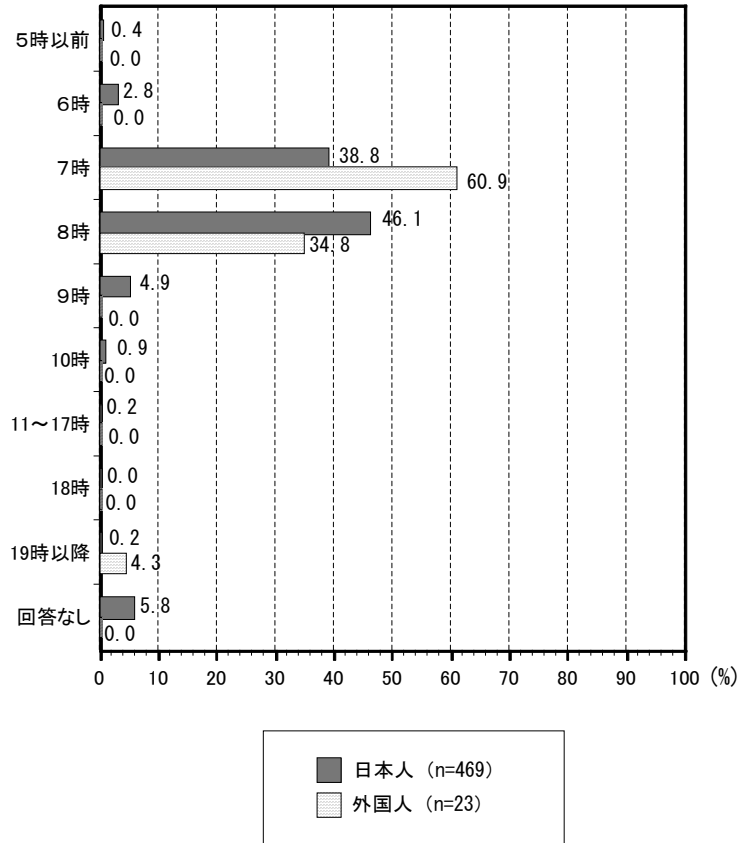
図表 3-5 フルタイムの母親の1週あたりの平均就労日数（外国人：経年比較）



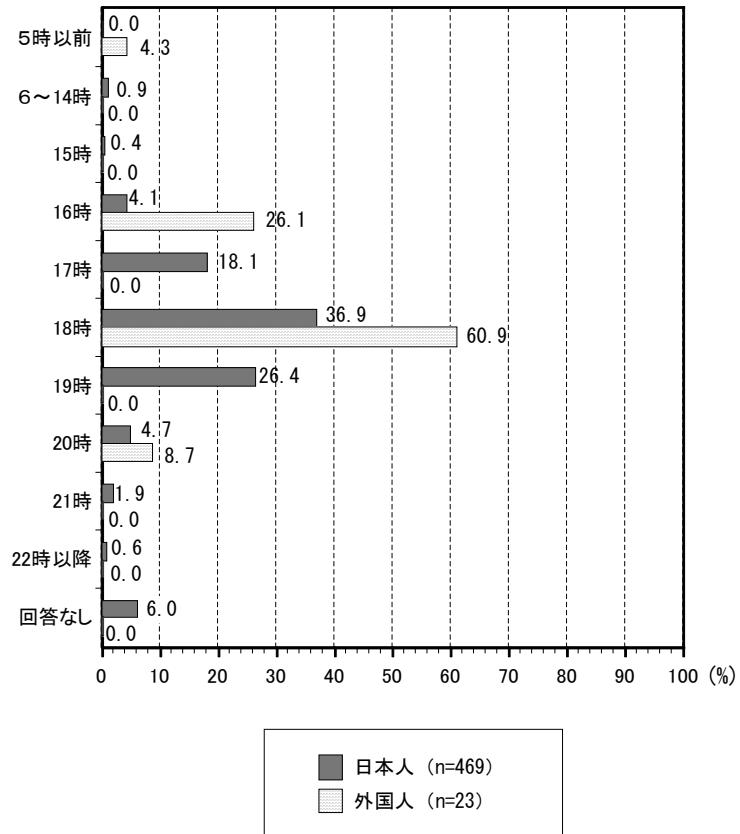
図表 3-6 フルタイムの母親の1日あたりの平均就労時間（外国人：経年比較）



図表 3-7 フルタイムの母親の働いている日の平均的な家を出る時間



図表 3-8 フルタイムの母親の働いている日の平均的な帰宅時間



③パートタイムの母親の就労状況

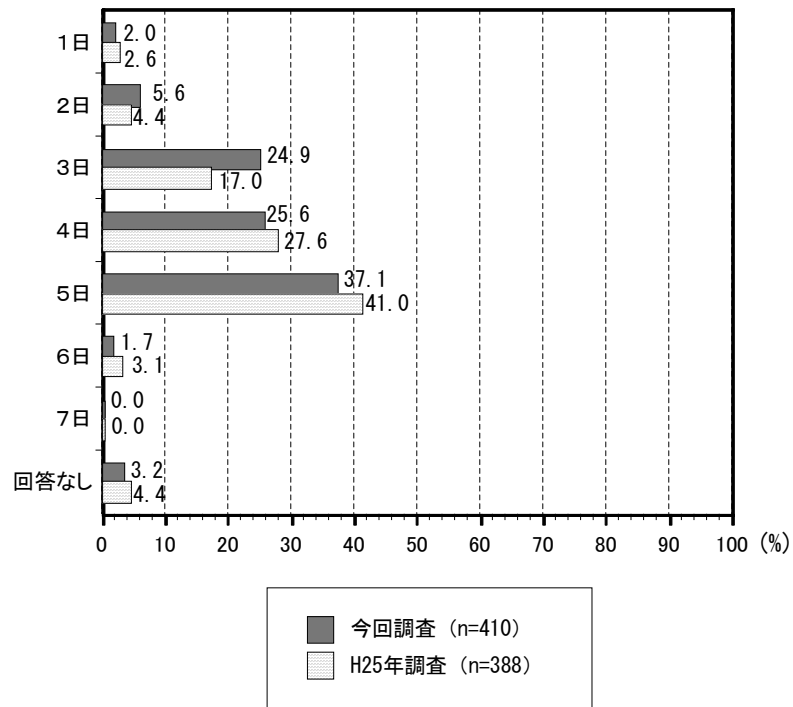
【日本人】

- 1週あたりの平均就労日数は、「5日」が37.1%（152人）と最も多く、次いで「4日」が25.6%（105人）、「3日」が24.9%（102人）となっています。
 - 1日あたりの平均就労時間は、「5時間」が30.0%（123人）と最も多く、次いで「4時間」が23.7%（97人）、「6時間」が22.4%（92人）、「7時間」が6.8%（28人）、「3時間」が5.1%（21人）の順となっています。
 - 働いている日の平均的な家を出る時間は、「8時」が45.9%（188人）と最も多く、次いで「9時」が30.0%（123人）、「7時」が6.8%（28人）、「10時」が4.6%（19人）の順となっています。
 - 働いている日の平均的な帰宅時間は、「17時」が21.7%（89人）と最も多く、次いで「15時」が21.0%（86人）、「16時」が15.1%（62人）、「14時」が12.9%（53人）、「18時」が8.3%（34人）の順となっています。
 - 今後の就労については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が54.4%（223人）と過半数を占めています。フルタイムへの転換希望があると回答した割合は30.3%（124人）となっており、その内訳は「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が24.4%（100人）、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が5.9%（24人）となっています。
 - 平成25年調査（前回調査）と比較して、フルタイム就労への移行希望の割合は4.0ポイント高くなっています。
-

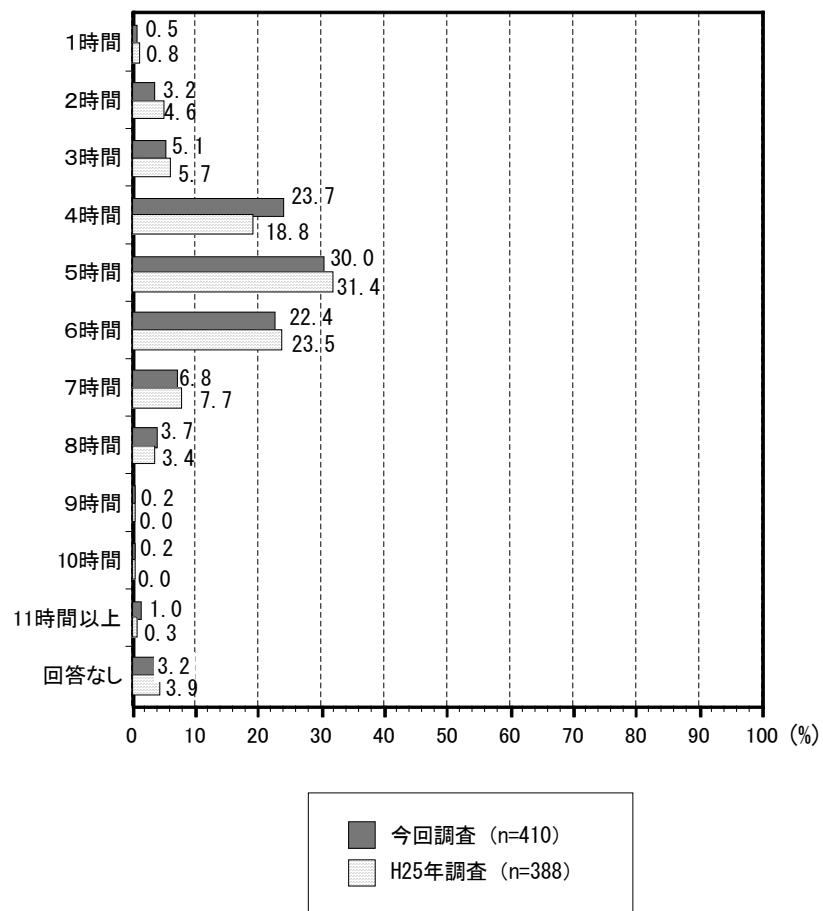
【外国人】

- 今後の就労については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が60.0%（6人）となっています。フルタイムへの転換希望があると回答した割合は40.0%（4人）となっており、その内訳は「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が20.0%（2人）、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が20.0%（2人）となっています。
-

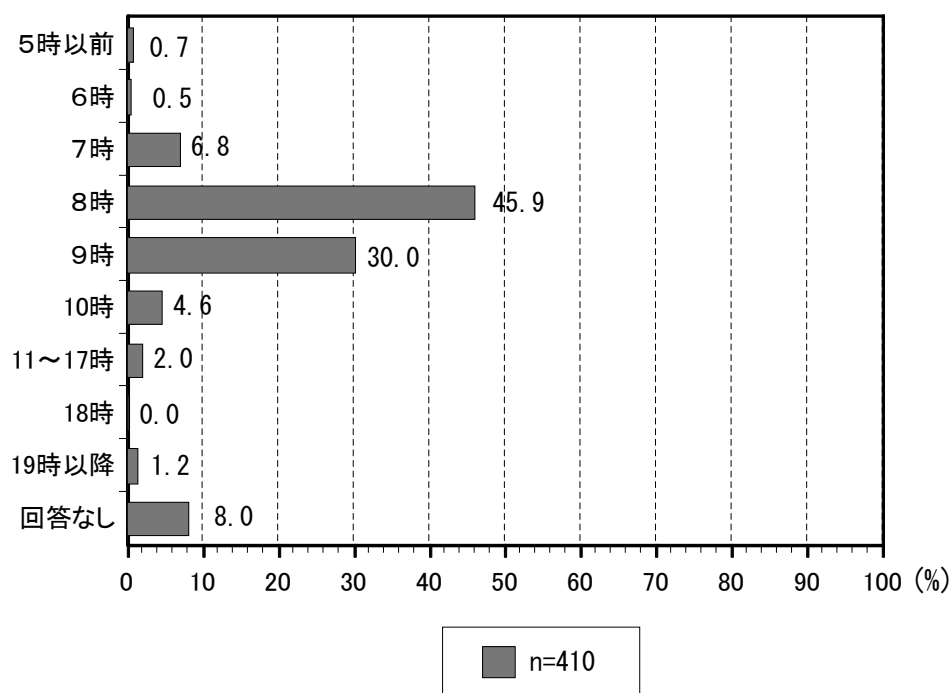
図表 3-9 パートタイムの母親の1週あたりの平均就労日数（日本人：経年比較）



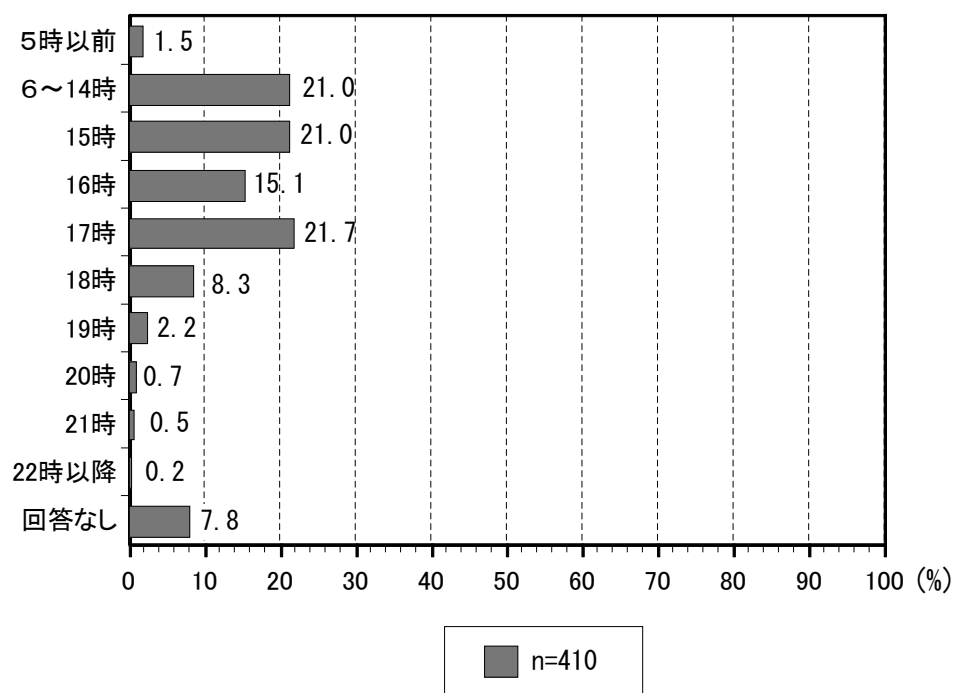
図表 3-10 パートタイムの母親の1日あたりの平均就労時間（日本人：経年比較）



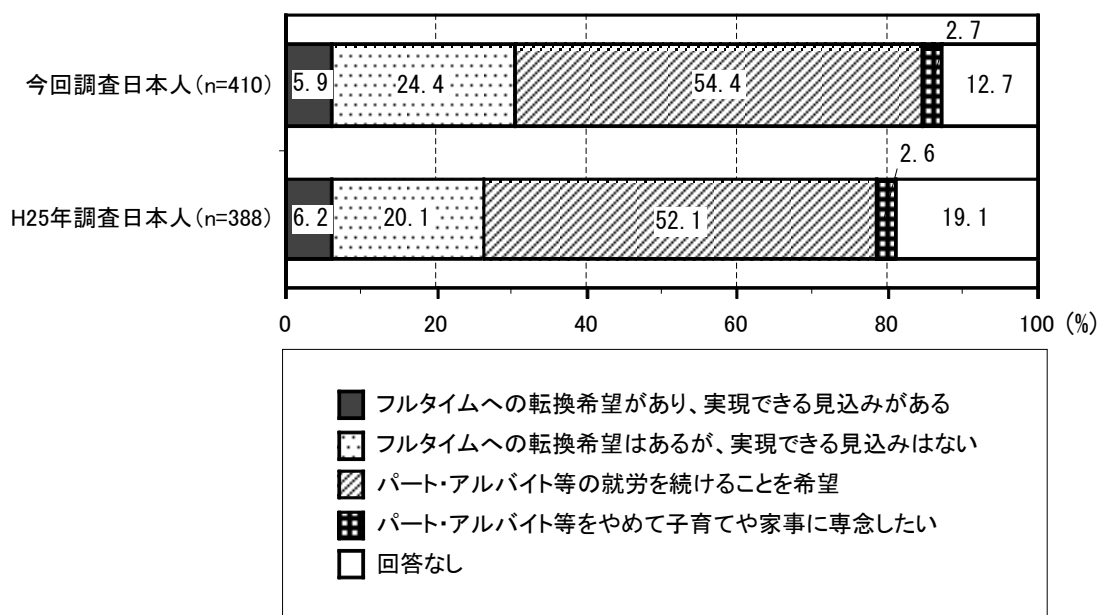
図表 3-11 パートタイムの母親の働いている日の平均的な家を出る時間



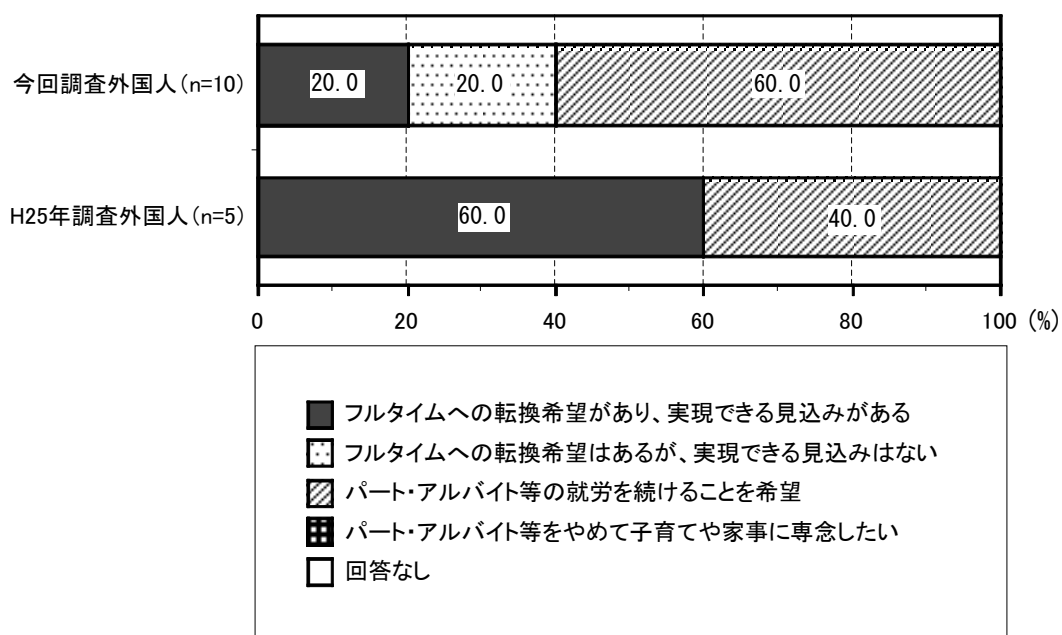
図表 3-12 パートタイムの母親の働いている日の平均的な帰宅時間



図表 3-13 パートタイムの母親の今後の就労についての意向（日本人：経年比較）



図表 3-14 パートタイムの母親の今後の就労についての意向（外国人：経年比較）



(2) 未就労の母親の就労希望（問 12-1）

問 12-1	問 12 で「5. 現在は就労していない」または「6. 就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
	就労したいという希望はありますか（あてはまるもの1つに○、該当箇所を数字を記入）。
	▼ 1 週あたりの就労日数 [] 日 ▼ 1 日あたりの就労時間 [] 時間

①希望の有無

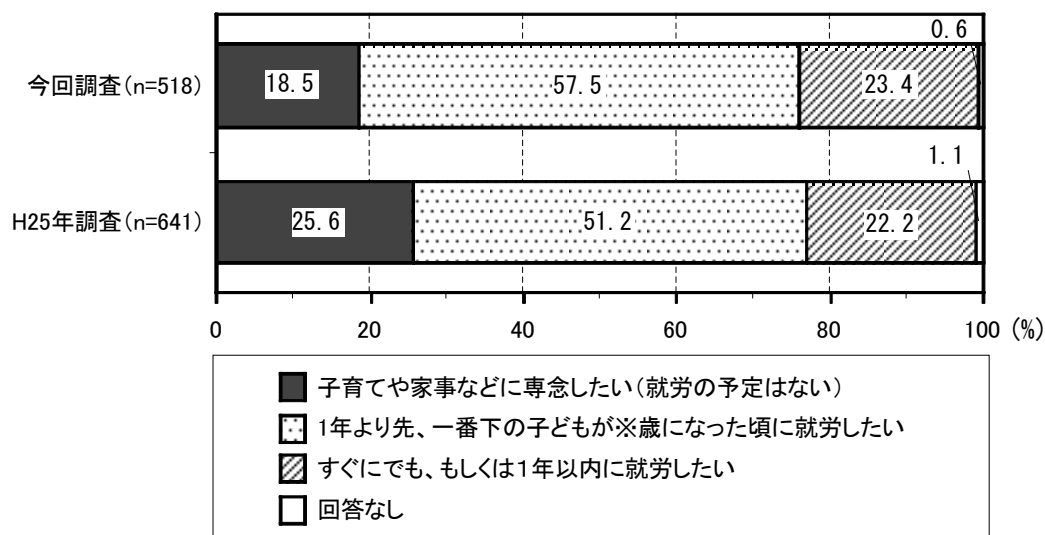
【日本人】

○未就労の母親の就労意向についてみると、就労希望は 80.9%（419 人）を占めています。このうち、「1 年より先、一番下の子どもが特定の年齢（○歳）になった頃に就労したい」が 57.5%（298 人）、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が 23.4%（121 人）となっています。

○「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」との回答は 18.5%（96 人）となっています。

○「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 7.1 ポイント減少した一方で、「1 年より先、一番下の子どもが特定の年齢（○歳）になった頃に就労したい」は 6.3 ポイント増加しており、将来的な就労を希望する母親は増加傾向にあります。

図表 3-15 未就労の母親の就労希望（経年比較）

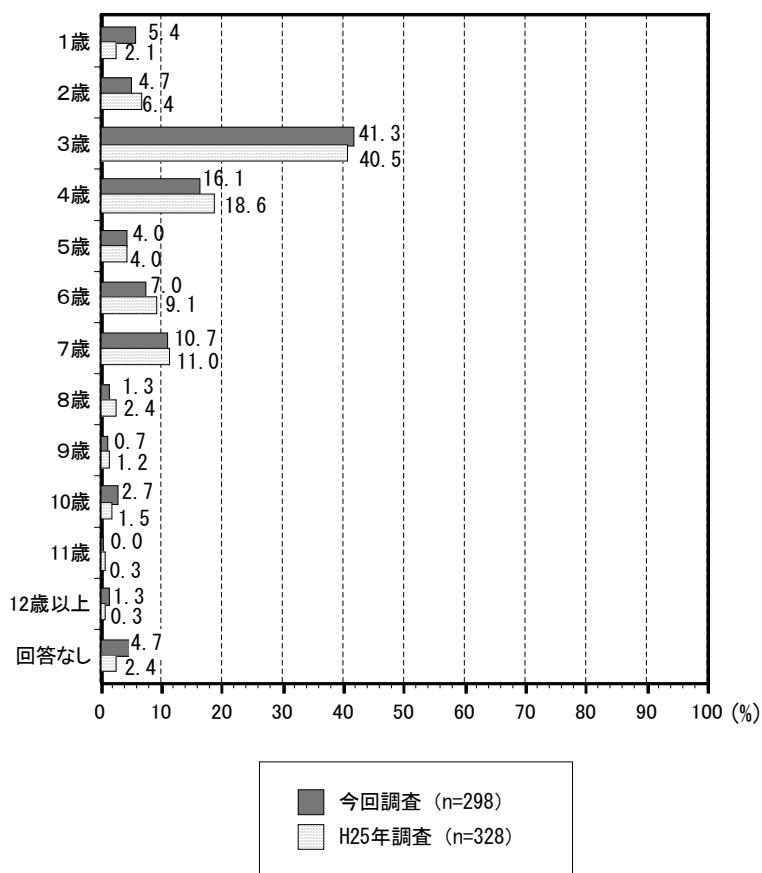


②希望する就労形態

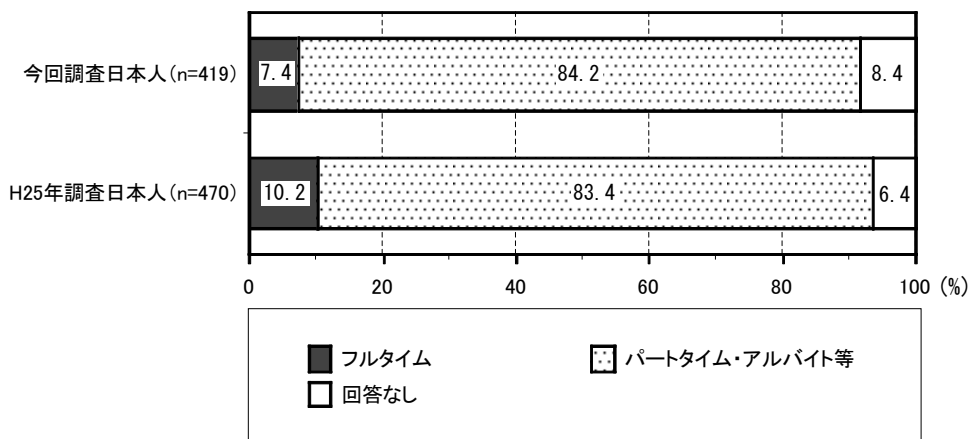
【日本人】

- 就労するときの子どもの年齢は、「3歳」が41.3%（123人）と最も多く、次いで「4歳」が16.1%（48人）、「7歳」が10.7%（32人）と続いています。5歳になるまでに就労したいと考える人の割合は71.5%（213人）となっています。
- 希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が84.2%（353人）を占めており、「フルタイム」の7.4%（31人）を大きく上回っています。
- 平成25年調査（前回調査）と比較して、大きな傾向の変化はみられません。

図表 3-16 未就労の母親が就労するときの子どもの年齢（経年比較）



図表 3-17 未就労の母親の希望する就労形態（経年比較）

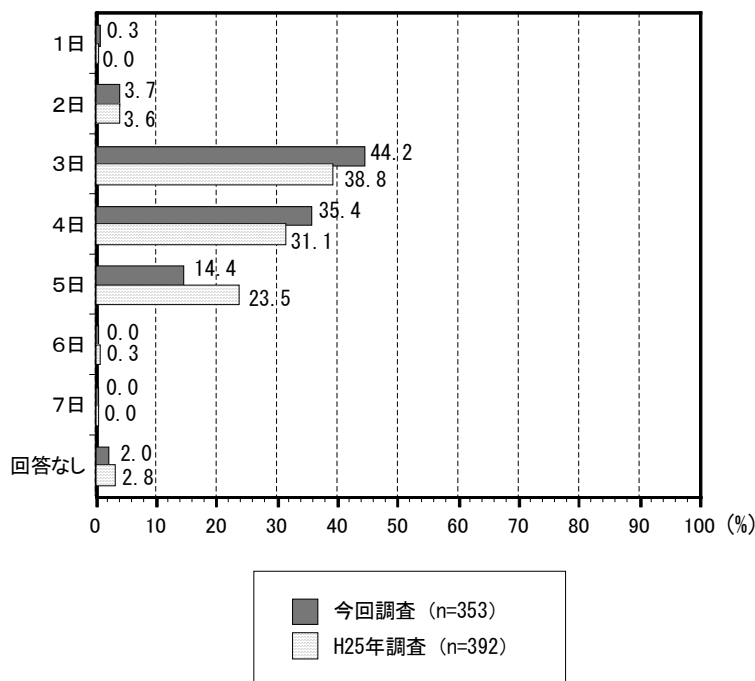


③希望する就労時間

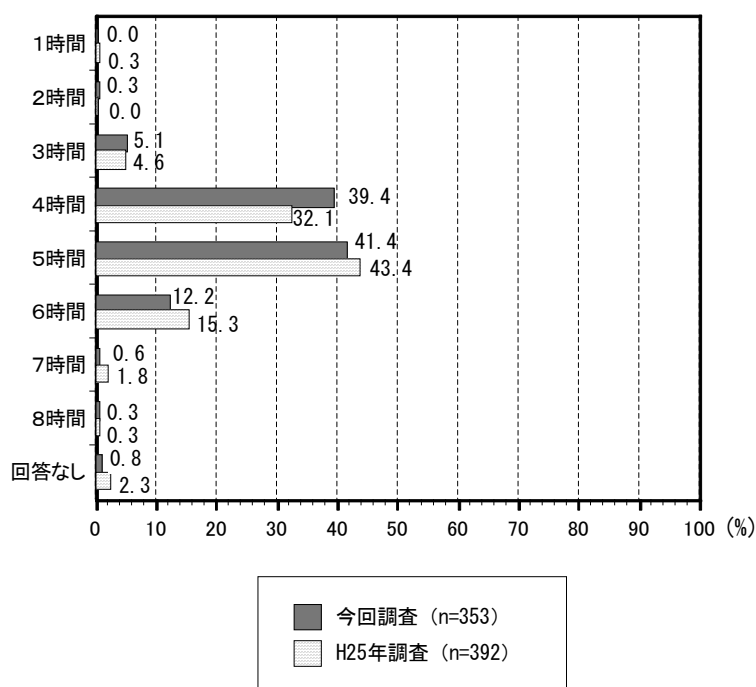
【日本人】

- パートタイム等を希望する場合の1週あたりの就労日数をみると、「3日」が44.2%（156人）と最も多く、次いで「4日」が35.4%（125人）、「5日」が14.4%（51人）となっています。
- パートタイム等を希望する場合の1日あたりの就労時間は、「5時間」が41.4%（146人）と最も多く、次いで「4時間」が39.4%（139人）、「6時間」が12.2%（43人）の順となっています。

図表 3-18 未就労の母親の希望する1週間あたりの就労日数（経年比較）



図表 3-19 未就労の母親の希望する1日あたりの就労時間（経年比較）



(3) 父親の就労状況（問 13）

問 13	宛名のお子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を教えてください（あてはまるもの1つに○、該当箇所に数字を記入）。	
	▼ 1週あたりの平均就労日数	：[] 日／週
	▼ 1日あたりの平均就労時間	：[] 時間／日
	▼ 働いている日の平均的な家を出る時間	：[] 時頃
	▼ 働いている日の平均的な帰宅時間	：[] 時頃

①就労の概況

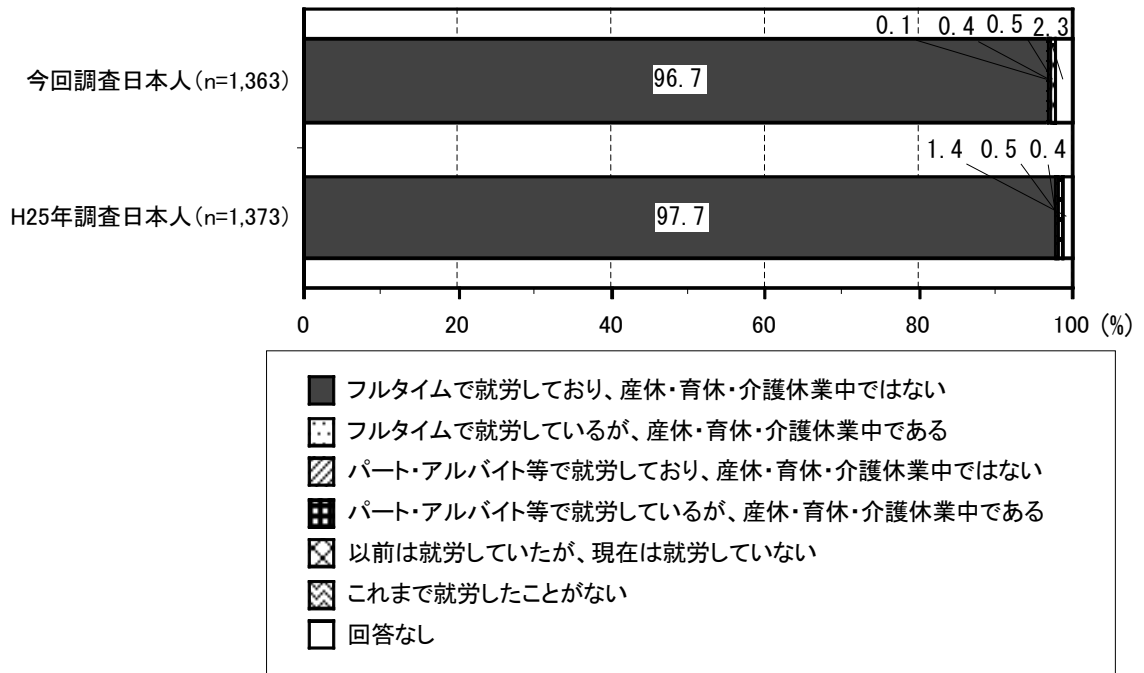
【日本人】

- 父親の就労状況について、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が96.7%（1,318人）、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が0.1%（1人）となっており、合わせて96.8%（1,319人）が“フルタイムで就労している”と回答しています。
- 「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が0.4%（5人）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は0.5%（7人）となっています。
- 休業の状況についてみると、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の0.1%（1人）のみと父親の育休取得は前回調査から引き続きかなり難しい状況です。

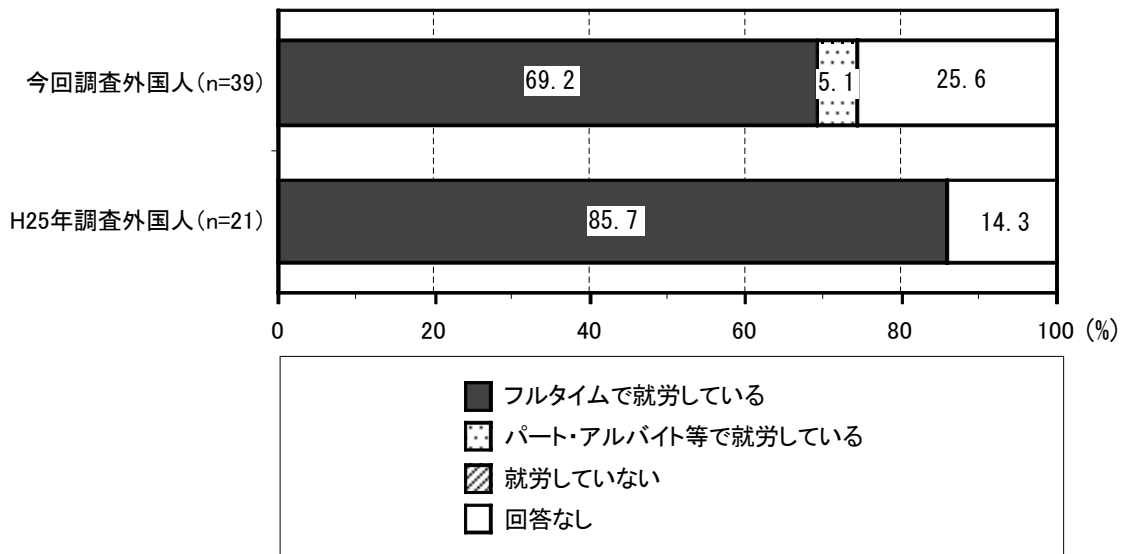
【外国人】

- 父親の就労状況は、「フルタイムで就労している」は69.2%（27人）となっています。

図表 3-20 父親の就労状況（日本人：経年比較）



図表 3-21 父親の就労状況（外国人）



②フルタイムの父親の就労状況

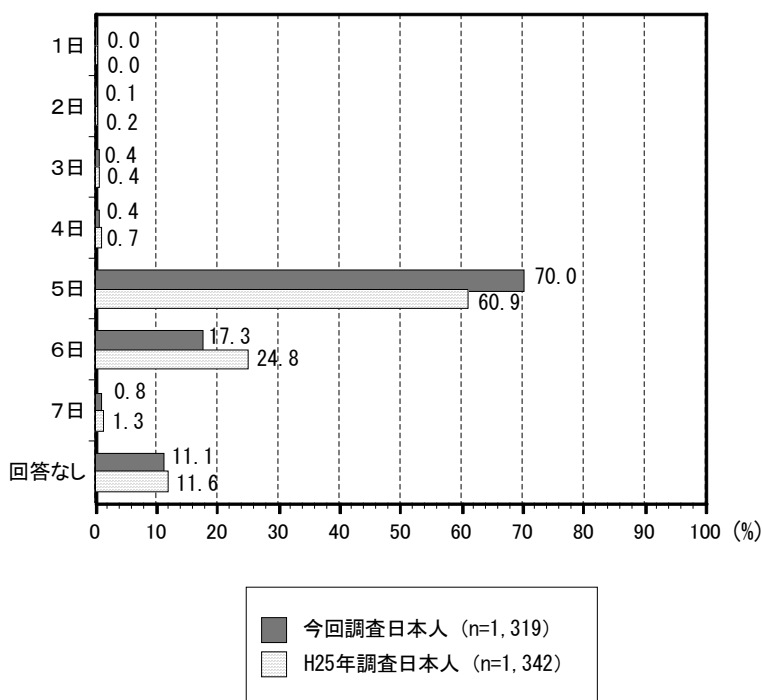
【日本人】

- 1週あたりの平均就労日数は、「5日」が70.0%（923人）と最も多く、次いで「6日」が17.3%（228人）となっています。
 - 1日あたりの平均就労時間は、「8時間」が28.7%（379人）と最も多く、次いで「10時間」の23.6%（311人）、「9時間」が12.7%（167人）、「12時間」が9.3%（123人）の順となっています。
 - 働いている日の平均的な家を出る時間は、「7時」が43.1%（568人）と最も多く、次いで「8時」が20.0%（264人）、「6時」が13.6%（179人）の順となっています。
 - 働いている日の平均的な帰宅時間は、「20時」が22.1%（292人）と最も多く、次いで「19時」が19.3%（255人）、「21時」が15.6%（206人）の順となっています。
-

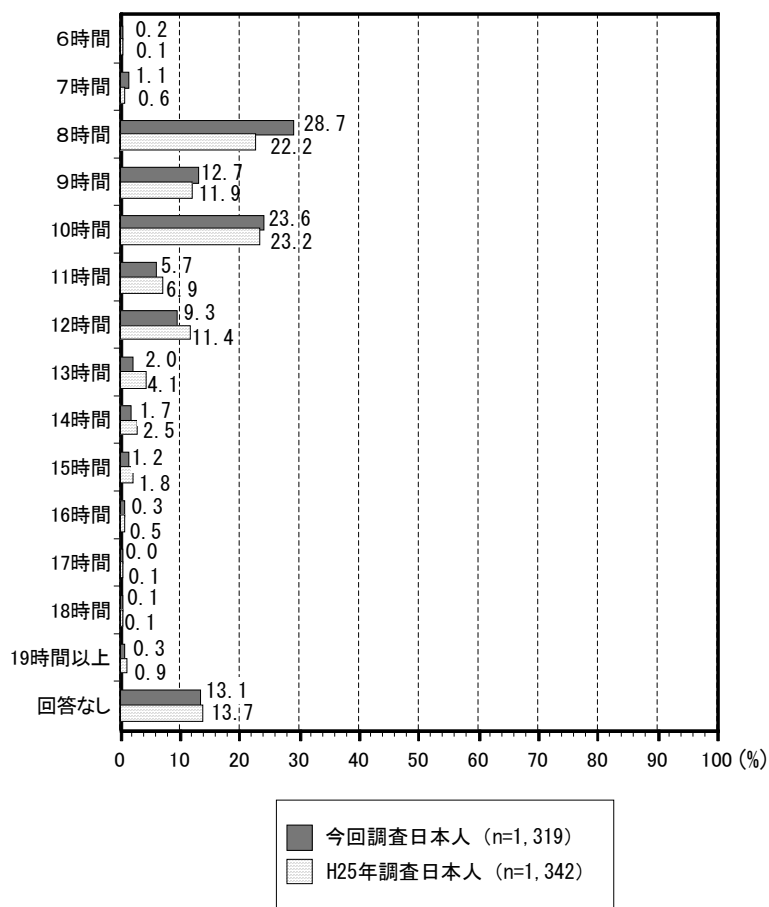
【外国人】

- 1週あたりの平均就労日数は、「5日」が51.9%（14人）と最も多く、次いで「6日」が40.7%（11人）と続いています。
 - 1日あたりの平均就労時間は、「8時間」と「10時間」が33.3%（9人）と最も多く、次いで「12時間」が14.8%（4人）、「9時間」が11.1%（3人）の順となっています。
 - 働いている日の平均的な家を出る時間は、「7時」が33.3%（9人）と最も多く、次いで「6時」と「8時」が14.8%（4人）の順となっています。
 - 働いている日の平均的な帰宅時間は、「19時」が22.2%（6人）と最も多く、次いで「20時」が18.5%（5人）の順となっていますが、時間のばらつきが大きくなっています。
-

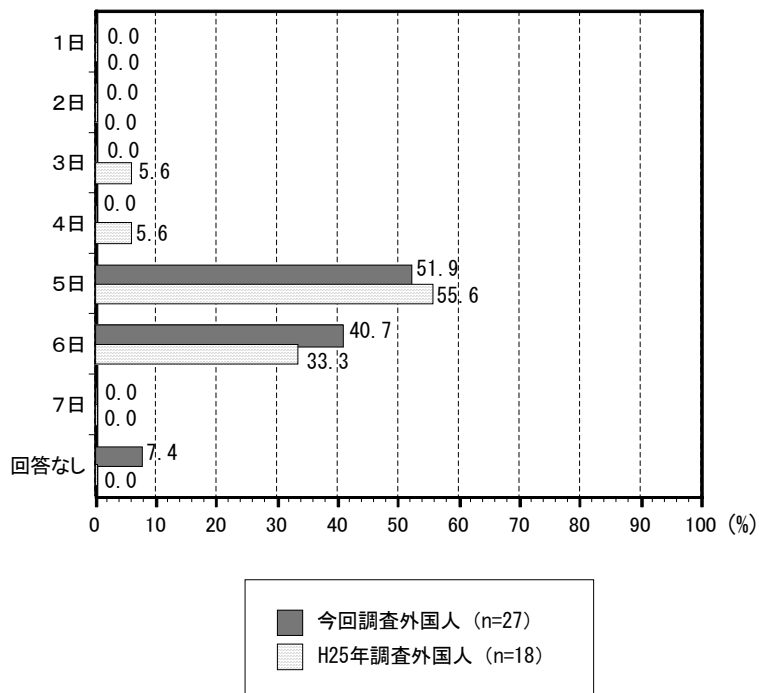
図表 3-22 フルタイムの父親の1週あたりの平均就労日数（日本人：経年比較）



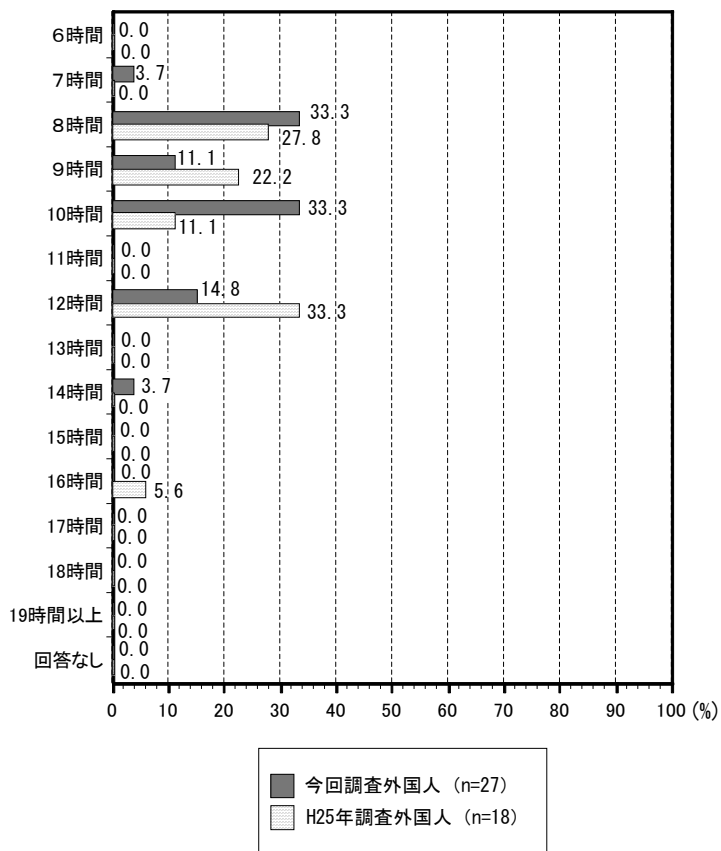
図表 3-23 フルタイムの父親の1日あたりの平均就労時間（日本人：経年比較）



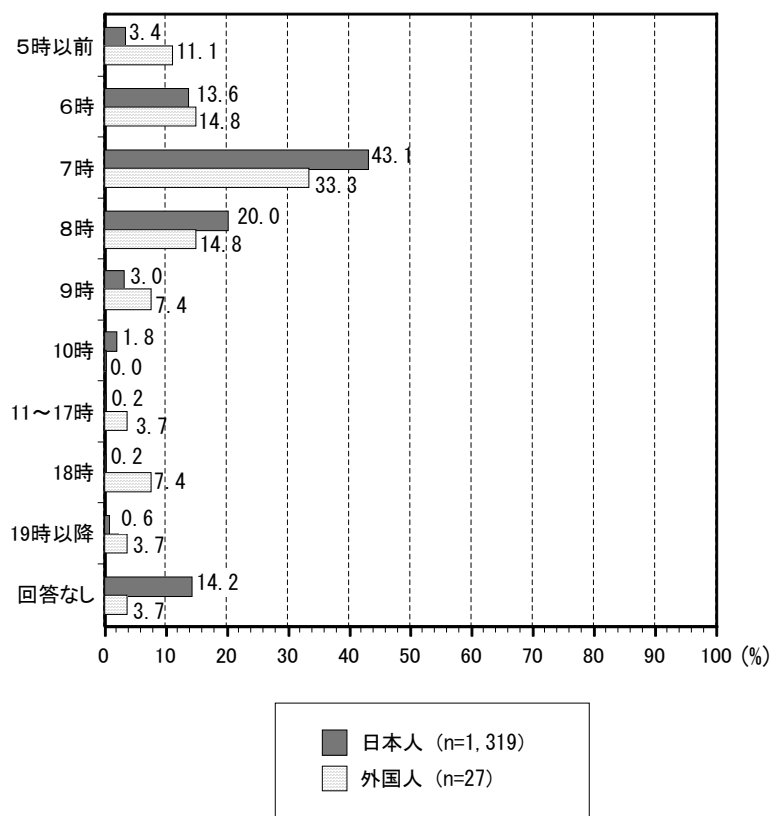
図表 3-24 フルタイムの父親の1週あたりの平均就労日数（外国人：経年比較）



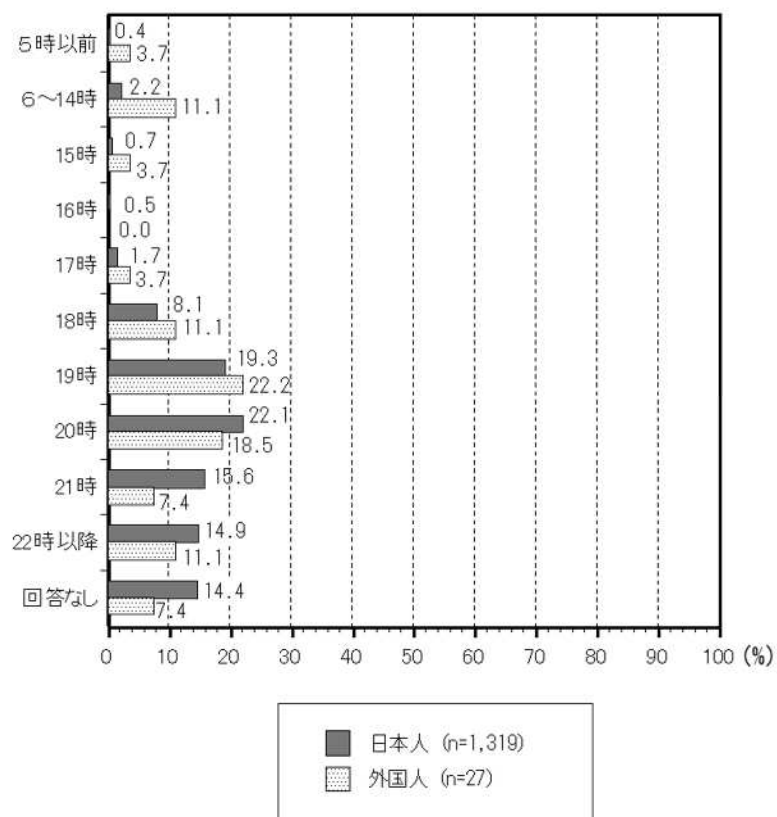
図表 3-25 フルタイムの父親の1日あたりの平均就労時間（外国人：経年比較）



図表 3-26 フルタイムの父親の働いている日の平均的な家を出る時間



図表 3-27 フルタイムの父親の働いている日の平均的な帰宅時間



③パートタイムの父親の就労状況

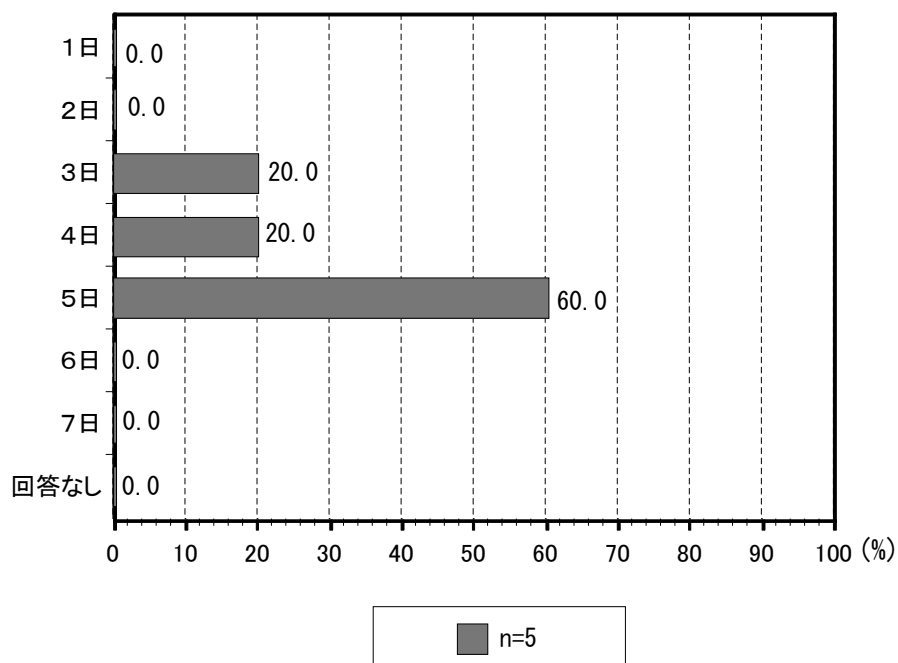
【日本人】

- 1週あたりの平均就労日数は、「5日」が60.0%（3人）と最も多くなっています。
- 1日あたりの平均就労時間は、「8時間」が60.0%（3人）と最も多くなっています。
- 働いている日の平均的な家を出る時間は、「8時」が40.0%（2人）と最も多くなっています。
- 働いている日の平均的な帰宅時間は、「15時」から「20時」までばらつきがあります。
- 今後の就労についての意向について、フルタイムへの転換希望があると回答した割合は40.0%（2人）であり、その内訳は「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が、それぞれ20.0%（1人）となっています。

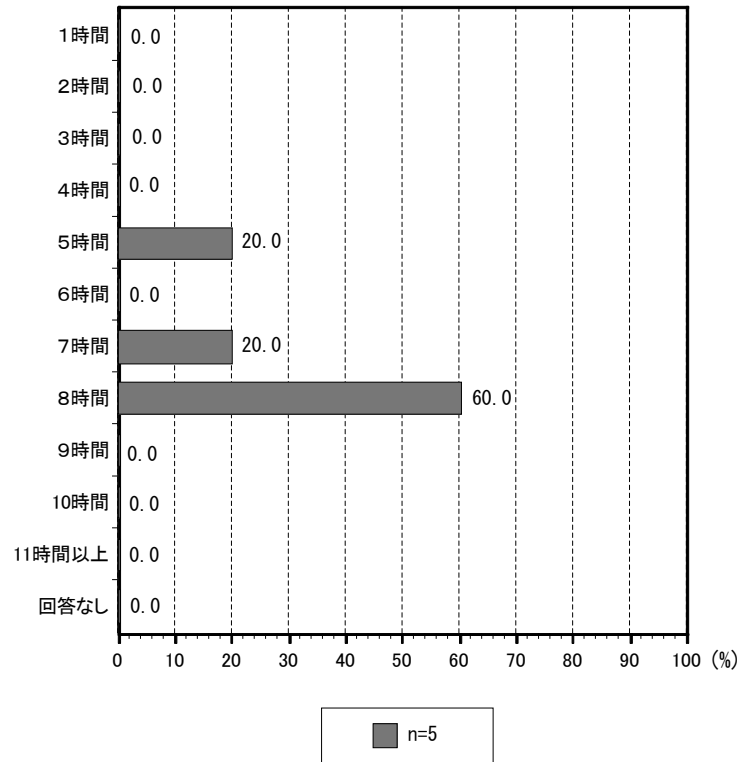
【外国人】

- 今後の就労についての意向について、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」との回答が1人となっています。

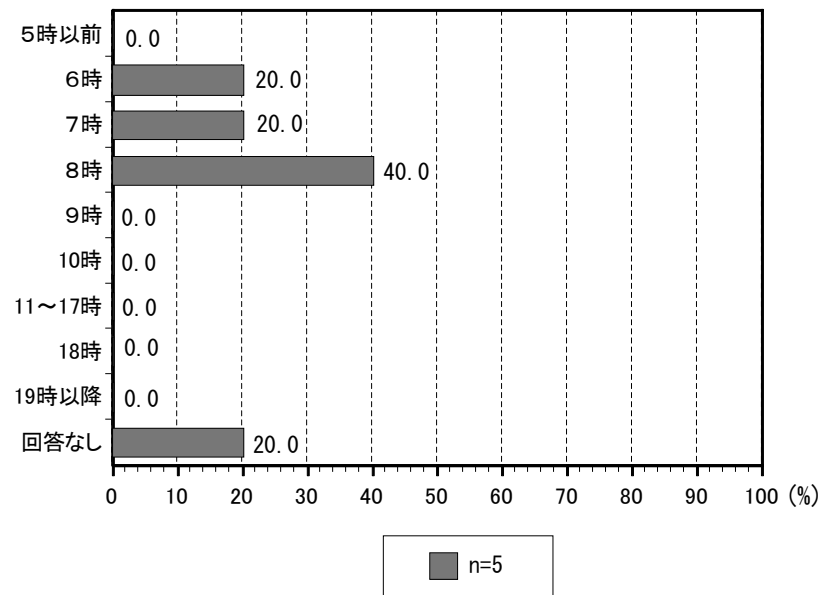
図表 3-28 パートタイムの父親の1週あたりの平均就労日数（日本人）



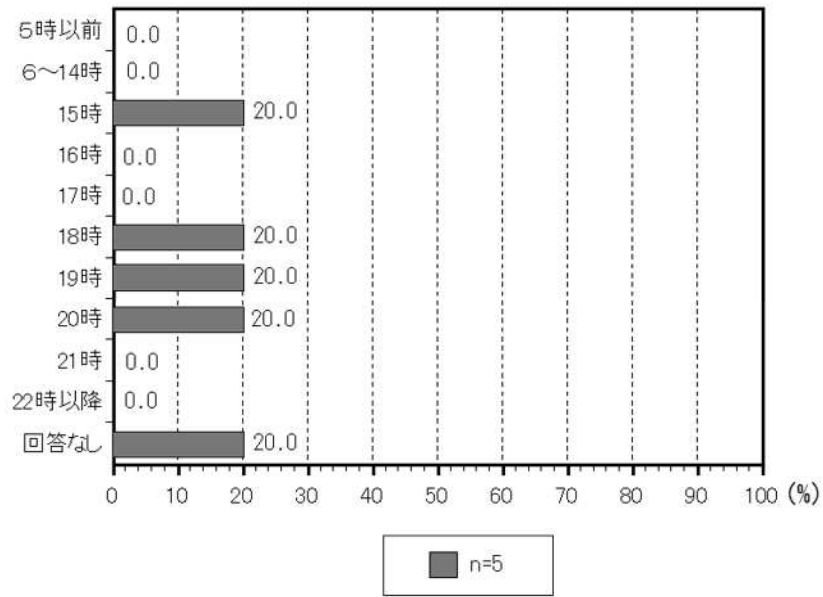
図表 3-29 パートタイムの父親の1日あたりの平均就労時間（日本人）



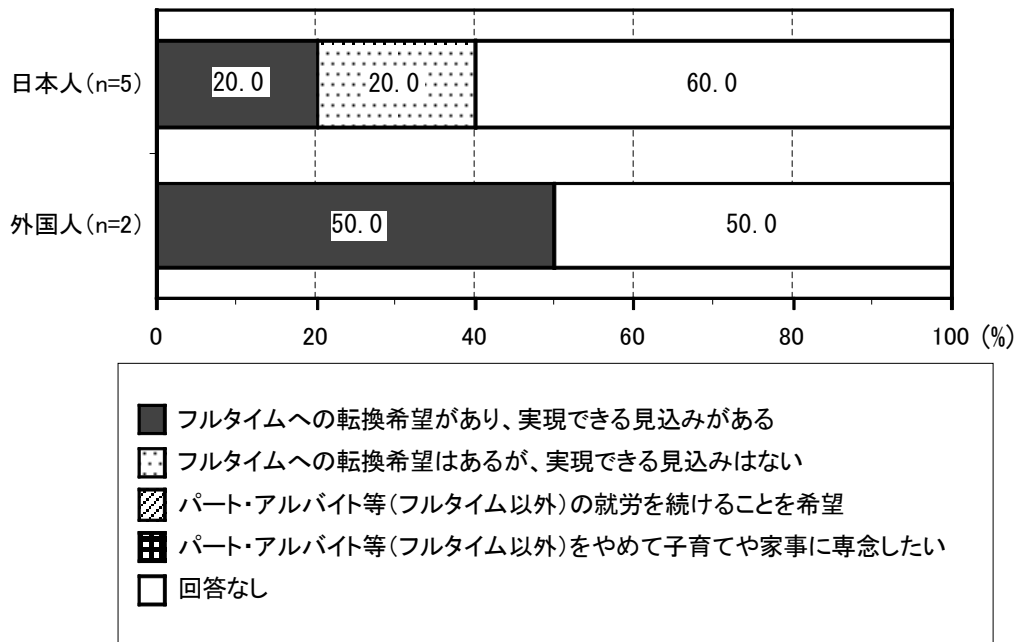
図表 3-30 パートタイムの父親の働いている日の平均的な家を出る時間（日本人）



図表 3-31 パートタイムの父親の働いている日の平均的な帰宅時間（日本人）



図表 3-32 パートタイムの父親の今後の就労についての意向



(4) 未就労の父親の就労希望（問 13-1）

問 13-1	問 12 で「5. 現在は就労していない」または「6. 就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 就労したいという希望はありますか（あてはまるもの1つに○、該当箇所を数字を記入）。
	▼ 1 週あたりの就労日数 [] 日 ▼ 1 日あたりの就労時間 [] 時間

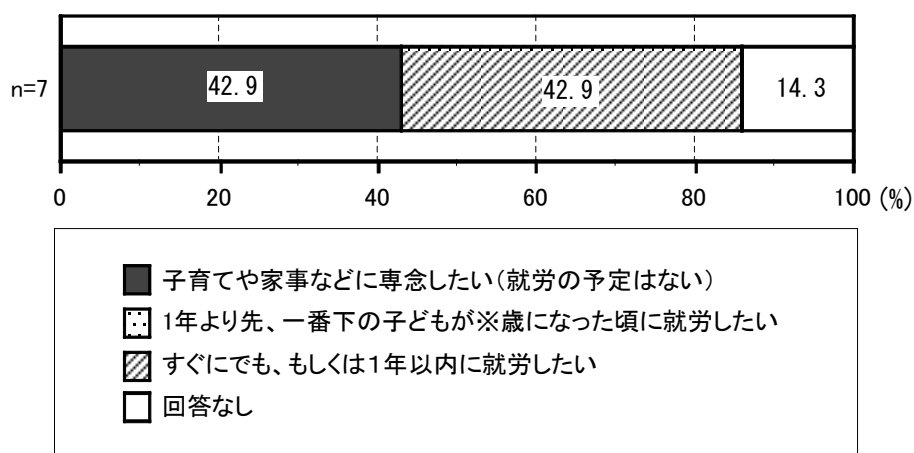
①希望の有無

【日本人】

○未就労の父親の就労意向についてみると、就労したいと回答した割合は 42.9%（3人）、「子育てや家事などに専念したい」との回答も 42.9%（3人）となっています。

○就労を希望する場合、全員が「フルタイム」を希望しています。

図表 3-33 未就労の父親の就労希望



図表 3-34 未就労の父親の希望する就労形態

